

## まちづくりに関する町民アンケート調査結果

### 調査の概要

#### (1) 調査目的

- ・ 秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020年度～2024年度）と秩父別町総合計画（2016年度～2025年度）の次期計画策定にあたっての参考資料とするため
- ・ 秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020年度～2024年度）の基本目標として設定している「住みよい町と感じている人」の実績値取得のため

#### (2) 調査方法

アンケート調査票及び返信用封筒作成用紙を R6. 10. 11 に全戸配布し、郵送又は持参により役場企画課に提出、若しくは web で回答を受け付けた。

#### (3) 調査期間

令和6年10月11日～11月1日

#### (4) 調査対象者と回収結果

母集団（調査対象者）	18歳以上の町民 1939人
アンケート配付数	1067（全世帯数）
回収数	156
回収率	14.6%

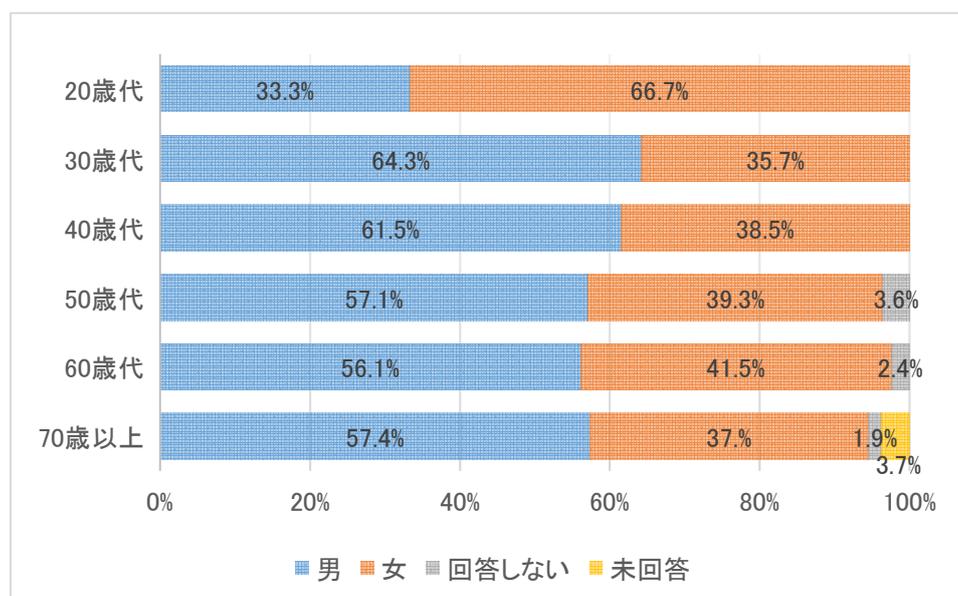
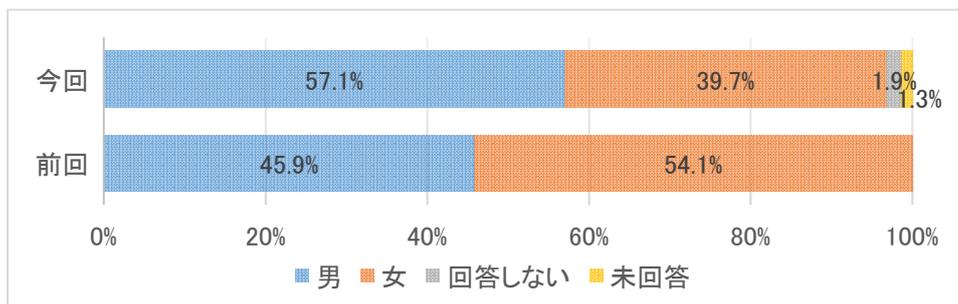
#### (5) その他

- ・ 端数処理により、グラフの合計が100%にならない箇所や選択肢を省略して表示しているグラフがある。
- ・ 図中、「前回」とは、特記ない場合、2019年7月調査を指す。

## 1. 回答者の状況

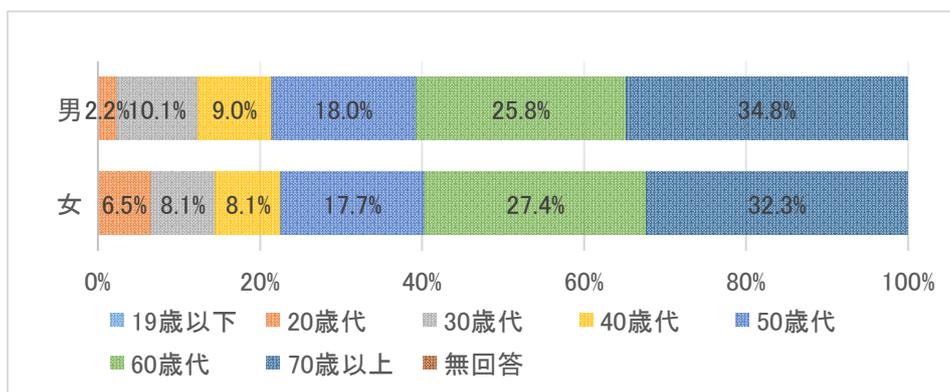
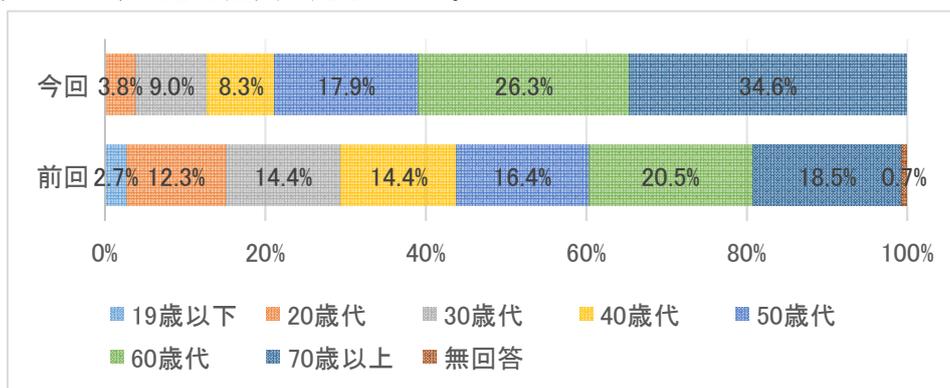
### 問1 ①性別

- 全体では、男性が57.1%、女性が39.7%だった。男女比が逆転しているのは、調査方法の変更の影響と思われる。
- 年代別にみると、30代~70歳以上で男性が約6割、20代では男性が3割だった。なお、19歳以下の回答はなかった。

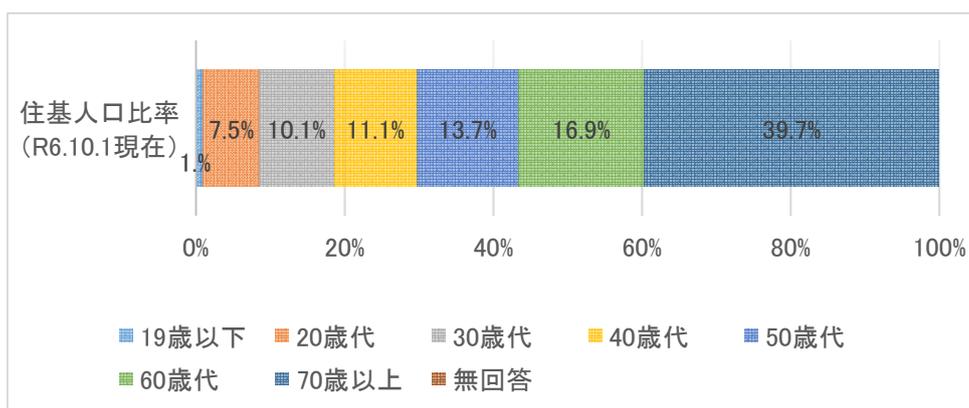


問1 ②年齢

- 全体では、人口比率と比較すると50歳以上の回答数が若干多いものの、概ね同等となった。なお、前回調査では、年代ごとに抽出して調査を行っていたため、年代ごと比率がおおむね均等になっている。
- 男女別では、大きな差異は見られない。

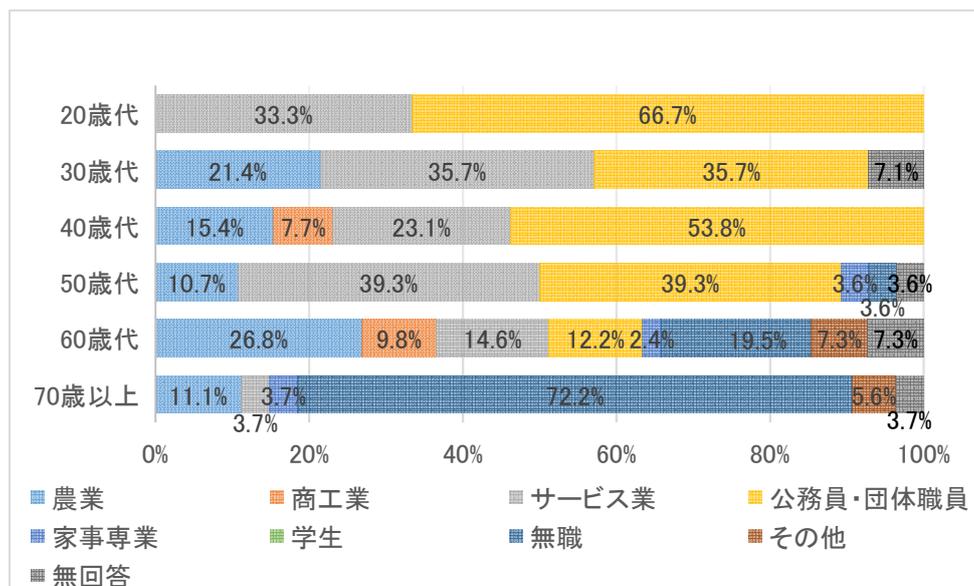
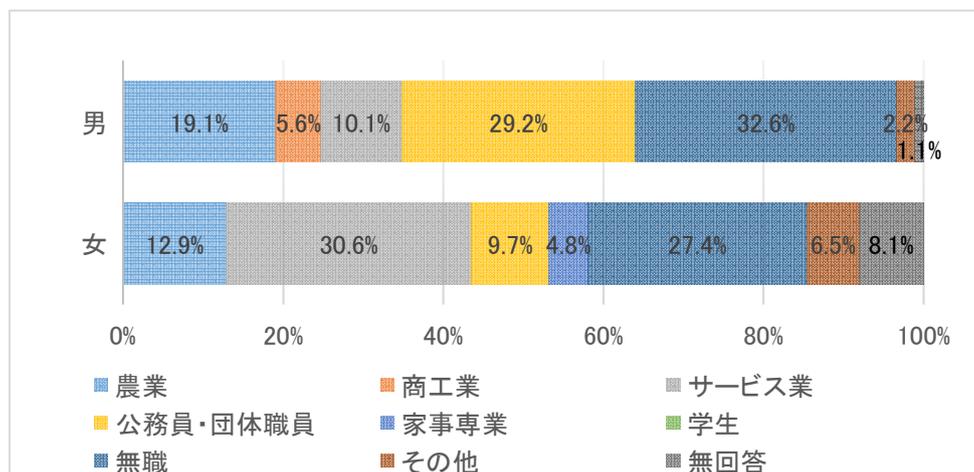
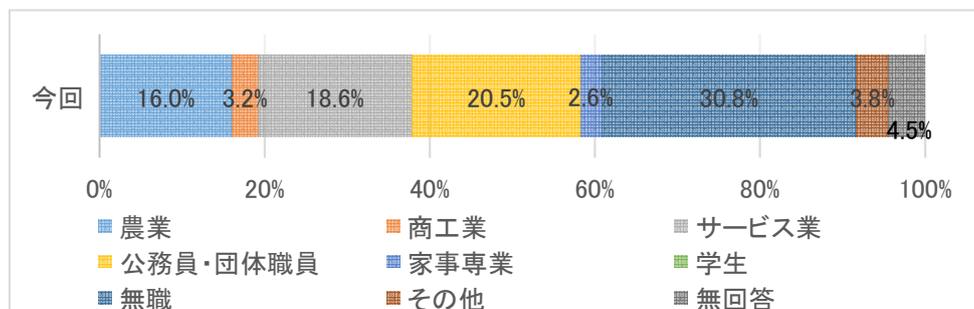


(参考)



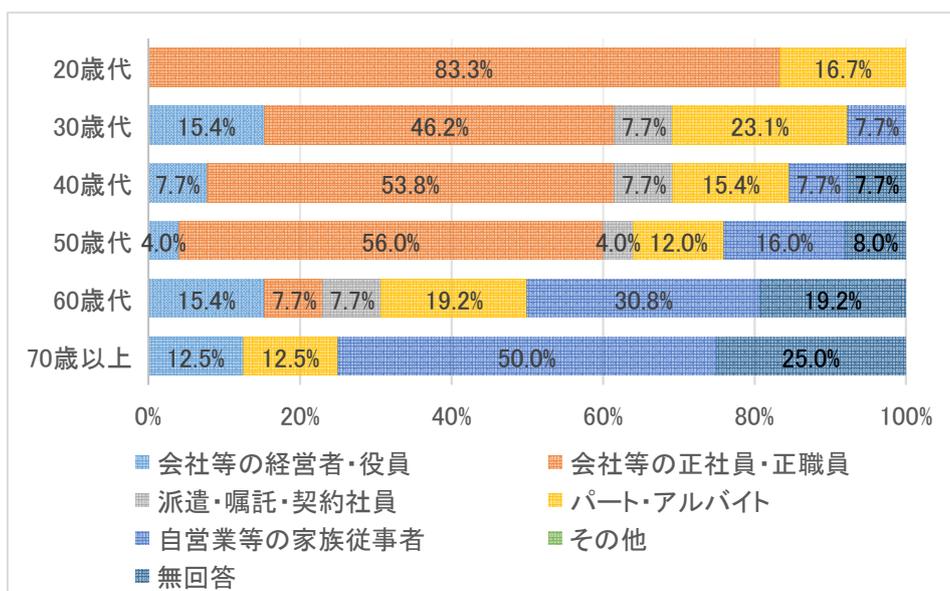
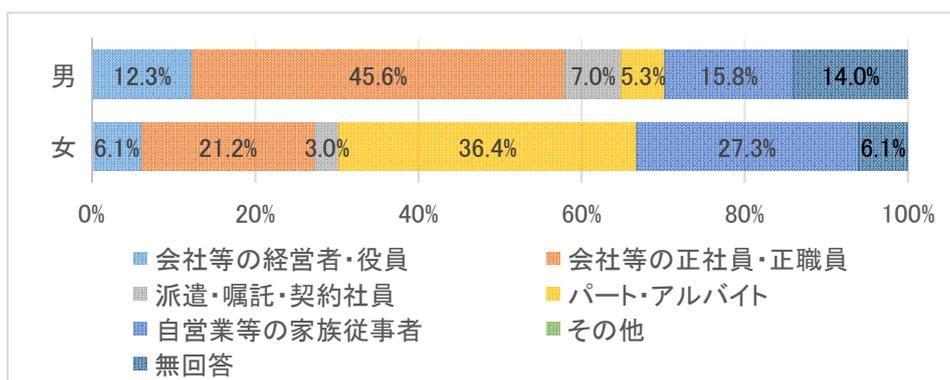
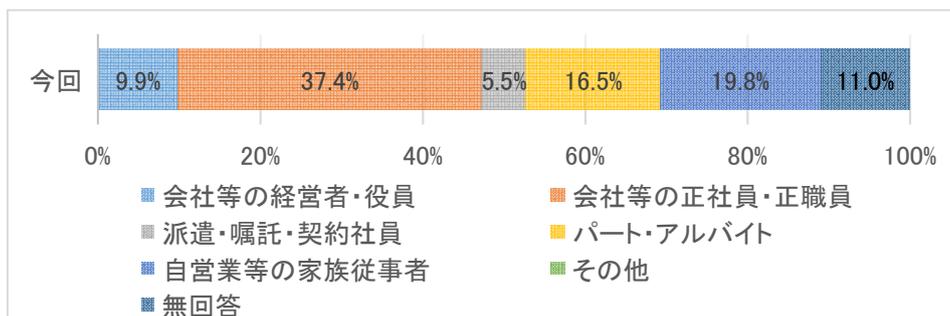
問1 ③職業

- ・全体では、無職が最も多く 30.8%、次いで公務員・団体職員が 20.5%、サービス業が 18.6%、農業が 16.0% だった。
- ・男性と比較して女性は、農業、商工業、公務員・団体職員の割合が小さく、サービス業の割合が大きかった。



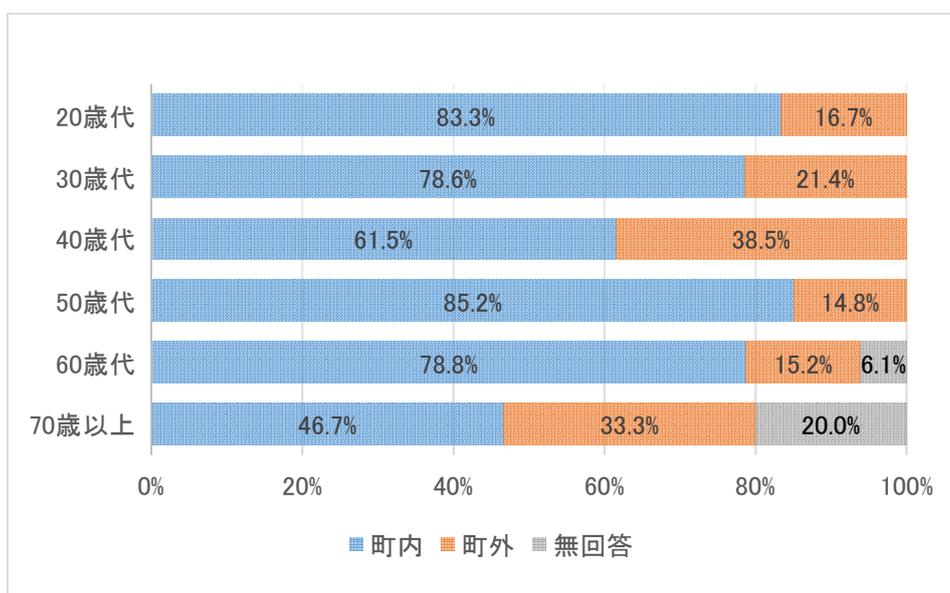
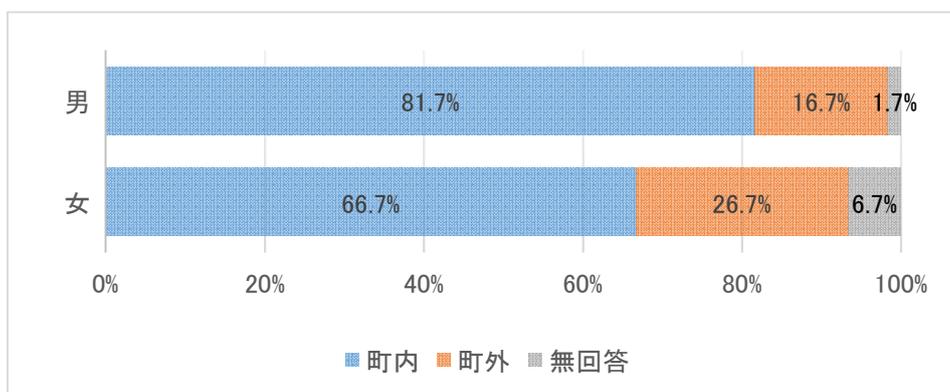
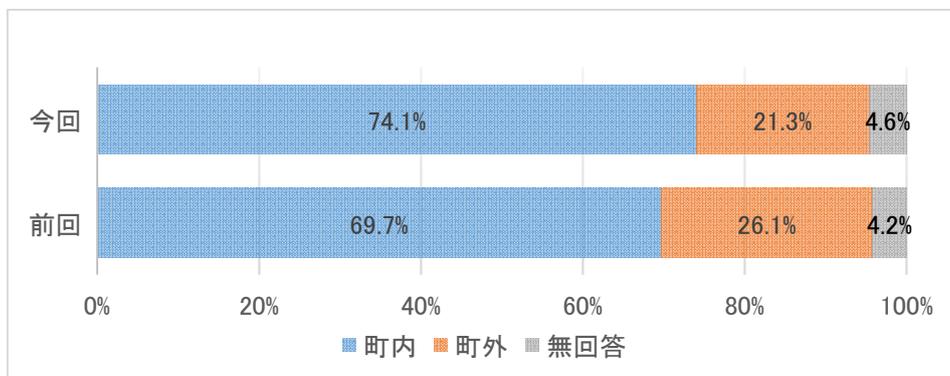
問1 ④就業形態等

- ・全体では、会社等の正社員・正職員が最も多く37.4%、次いで自営業等の家族従事者が19.8%、パート・アルバイトが16.5%、会社等の経営者・役員が9.9%だった。
- ・男性と比較して女性は、正社員・正職員の割合が低く、パート・アルバイトの割合が大きかった。
- ・年代別では、50歳代以下で正社員・正職員の割合が大きく、60歳代、70歳以上では、自営業等の家族従事者の割合が大きかった。



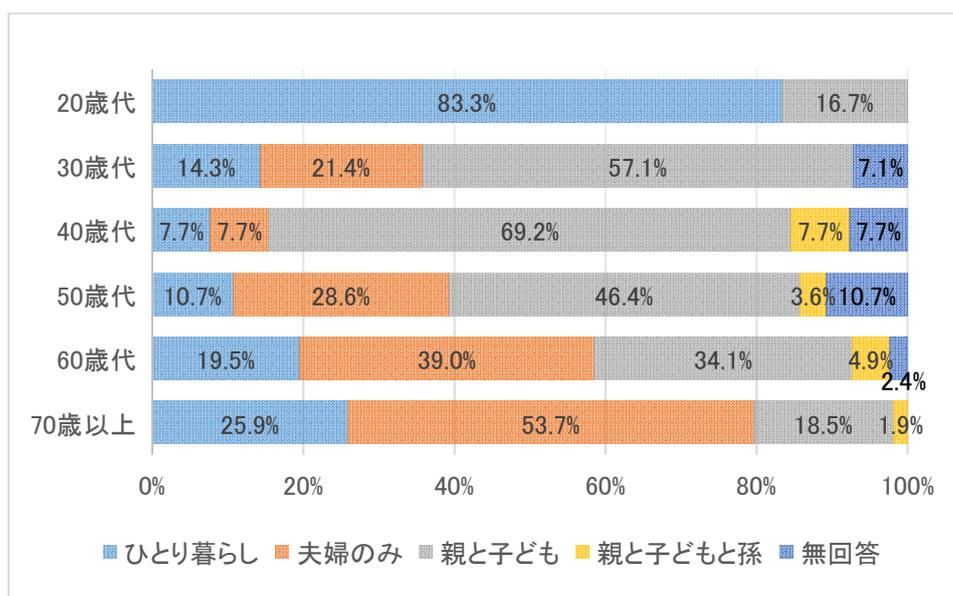
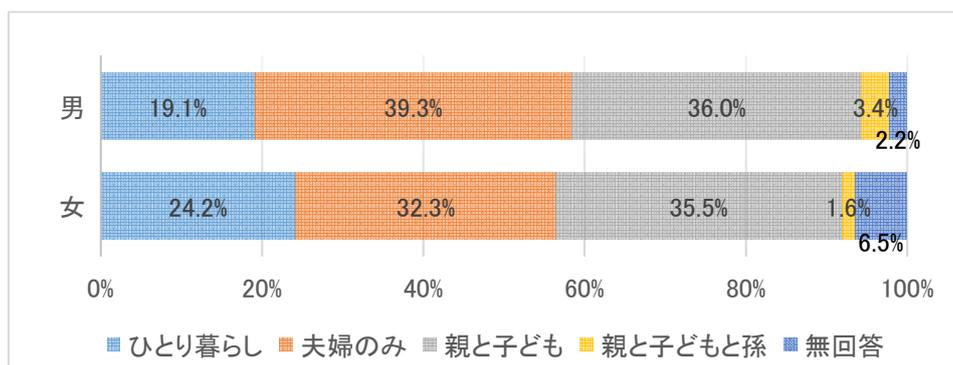
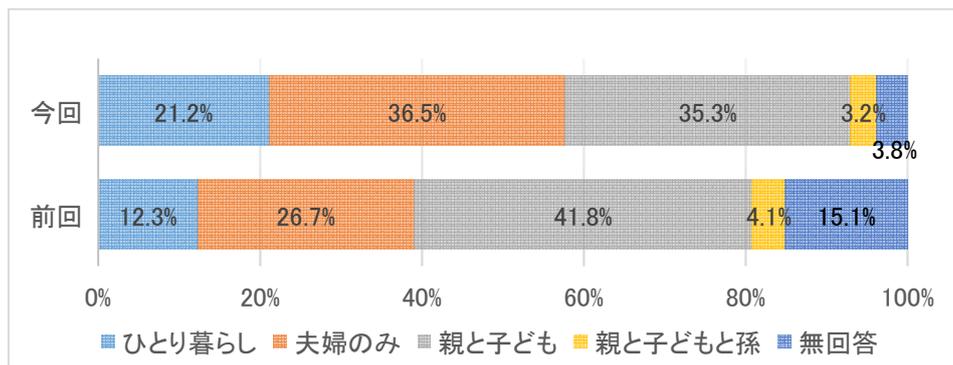
問1 ⑤職場

- ・全体では、町内が74.1%で、前回調査より4.4%上昇した。
- ・男女別では、男性の方が町内の割合が大きかった。
- ・年代別では、40歳代、70歳以上の区分で町外の割合が大きかった。



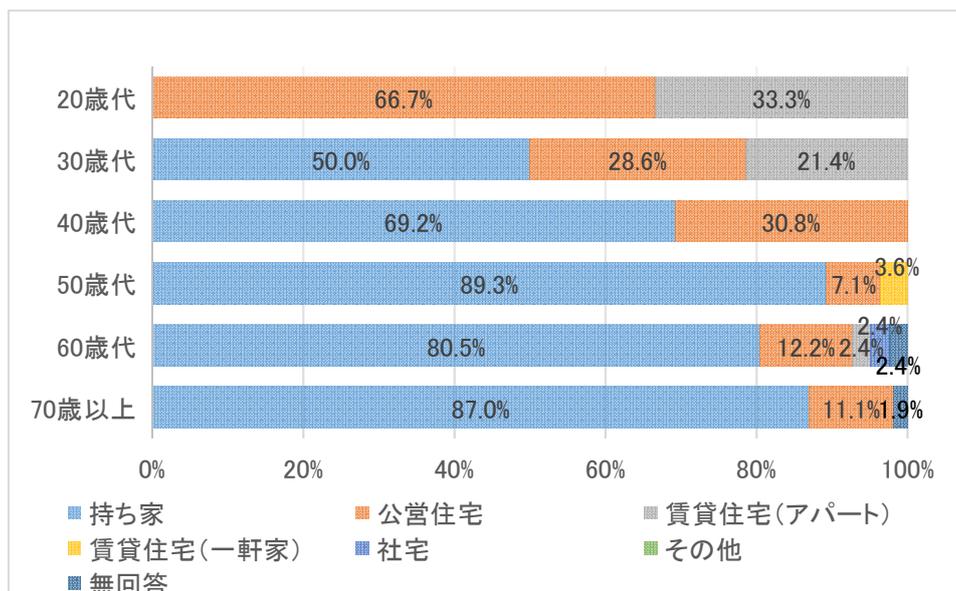
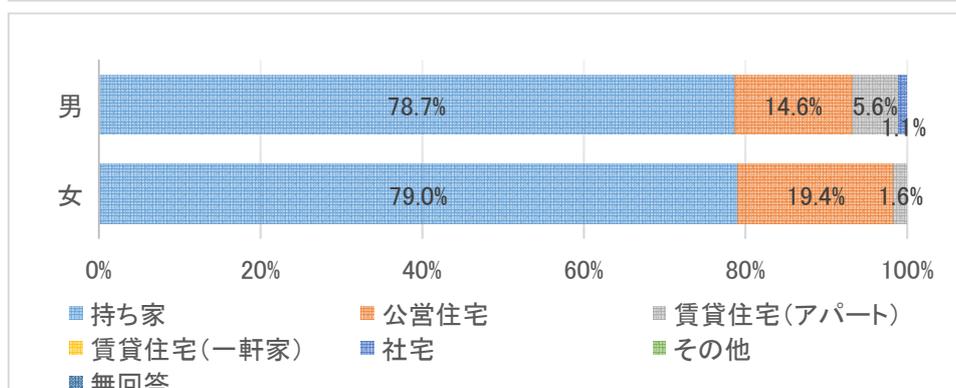
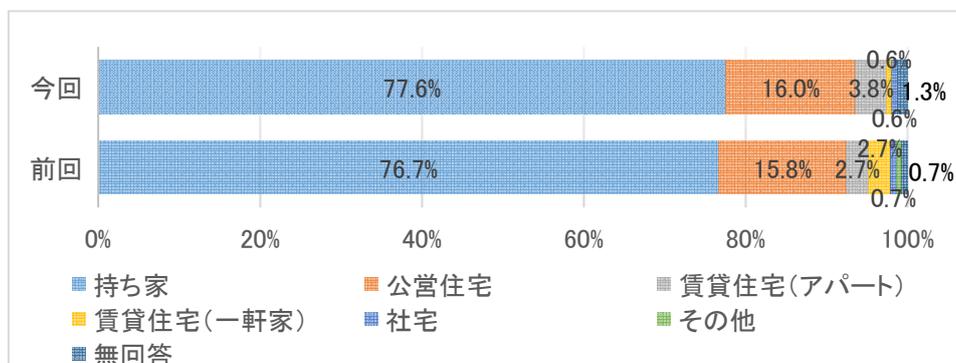
問1 ⑥世帯構成

- ・全体では、夫婦のみが36.5%、親と子どもが35.3%、ひとり暮らしが21.2%だった。前回調査と比較するとひとり暮らし、夫婦のみの割合が上昇した。
- ・男女別では、男性より女性のひとり暮らしの割合が大きかった。
- ・年代別では、20歳代で83.3%がひとり暮らしだが、30歳代以上になるとその割合は激減して夫婦のみや親と子どもの割合が大きくなり、高齢層になるとひとり暮らしや夫婦のみの割合が大きくなっている。



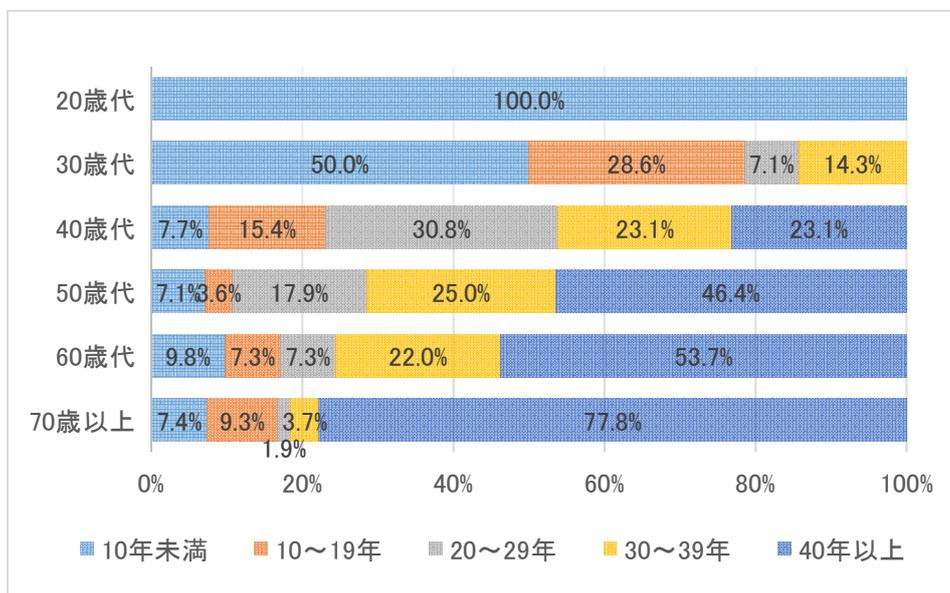
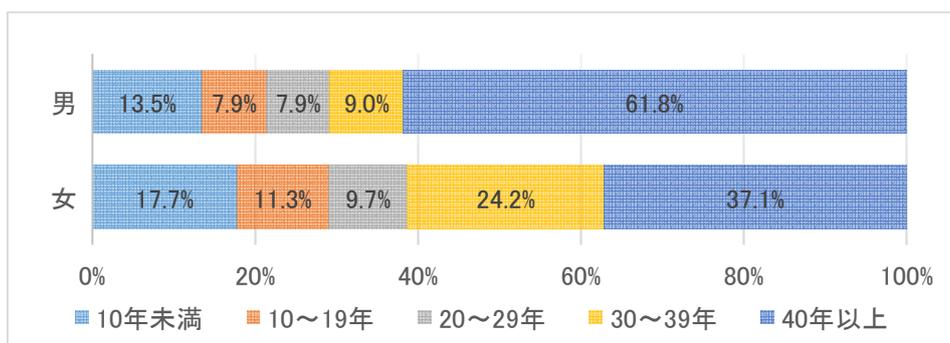
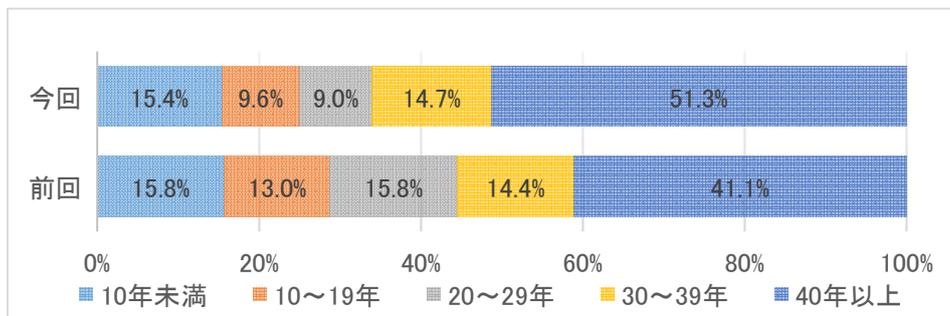
問1 ⑦現在のお住まい

- ・全体では、持ち家が77.6%、公営住宅が16.0%だった。
- ・年代別では、20歳代で公営住宅、賃貸住宅（アパート）の割合が大きく、30代以上で持ち家の割合が大きくなっている。



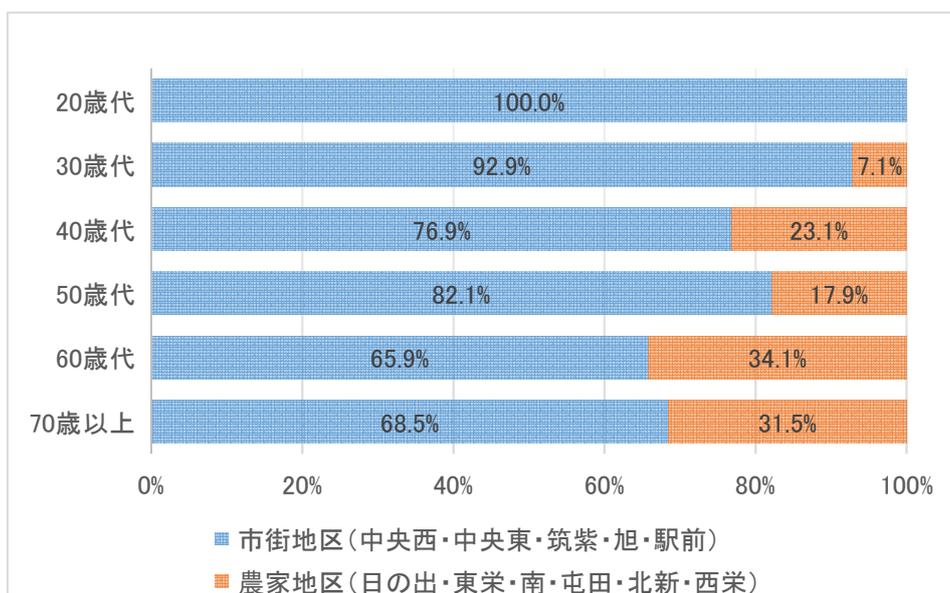
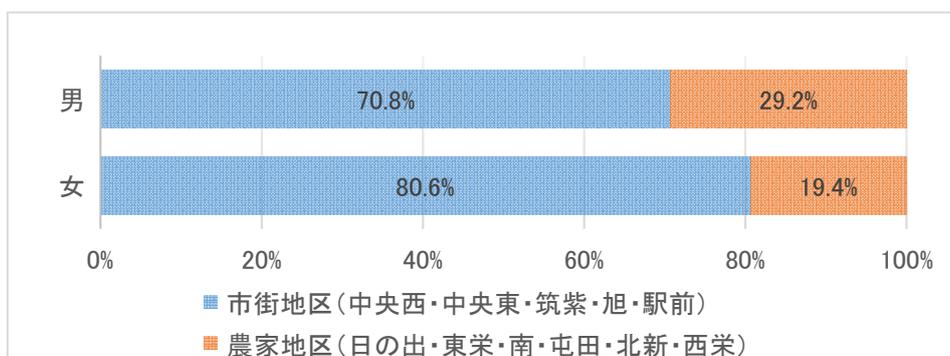
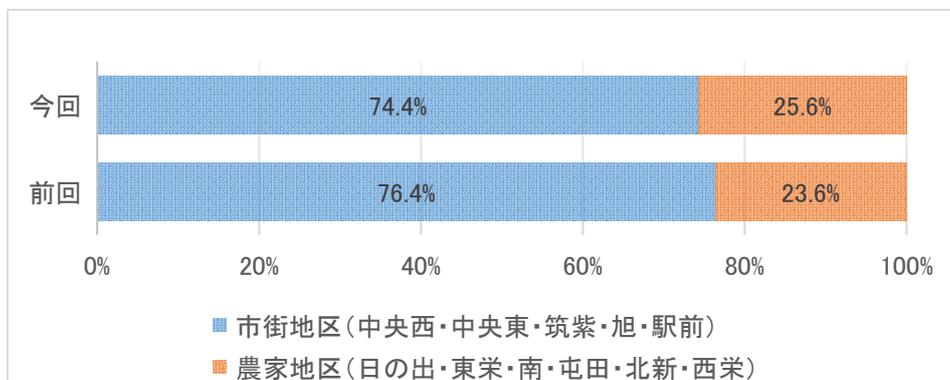
問1 ⑧秩父別町での居住年数

- ・全体では、40年以上が51.3%、10年未満が15.4%だった。
- ・男女別では、男性の方がより年数の多い区分の割合が大きかった。



問1 ⑨居住区

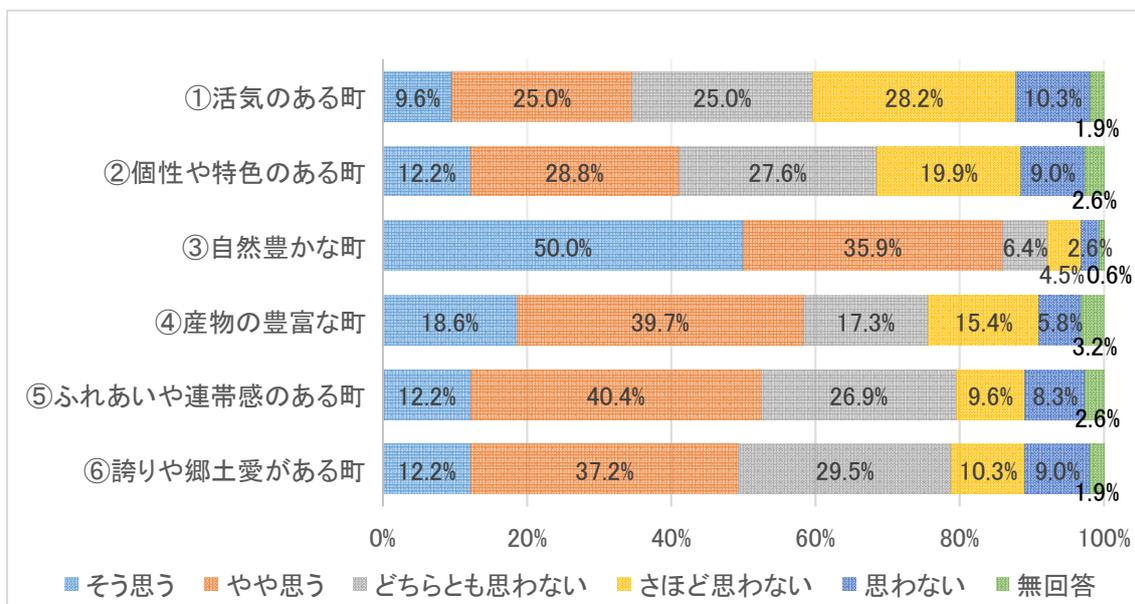
- ・全体では、市街地区が74.4%、農家地区が25.6%だった。
- ・男女別では、女性の方が市街地区の割合が大きかった。
- ・年代別では、高齢層の方が農家地区の割合が大きかった。



## 2. 秩父別町のイメージ

### 問2 秩父別町のイメージ

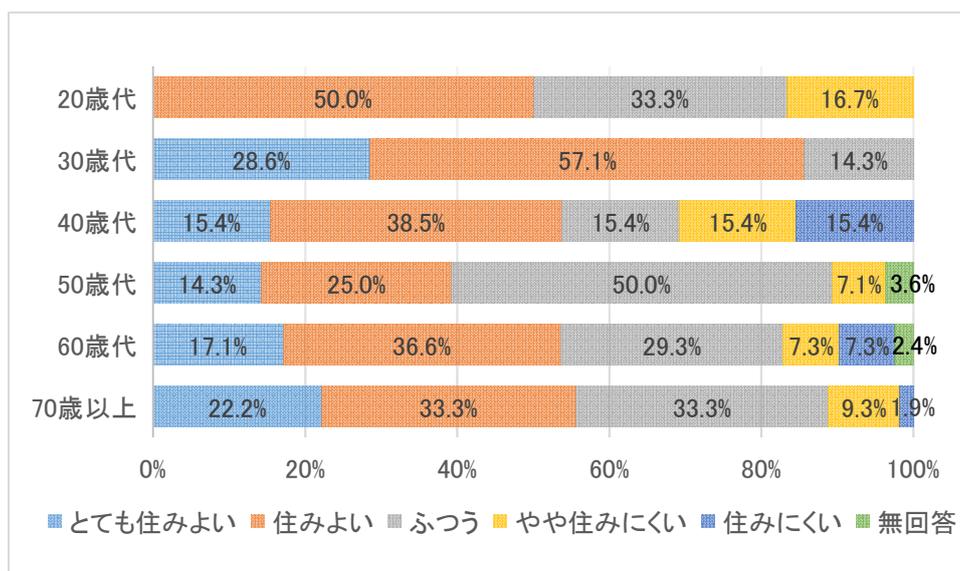
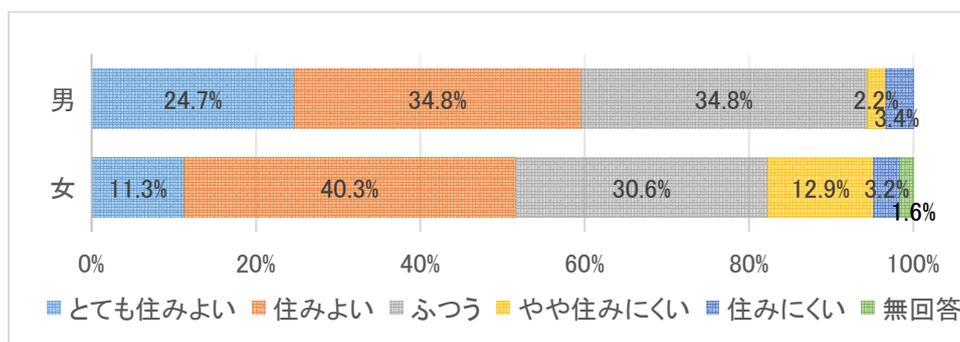
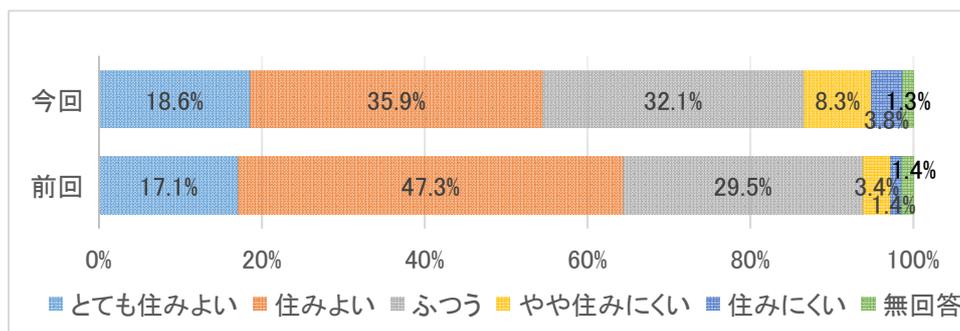
- ・「そう思う」と「やや思う」の合計で、③自然豊かな町は8割を超え、④産物の豊富な町、⑤ふれあいや連帯感のある町、⑥誇りや郷土愛がある町は50%を超えていた。



### 3. 住み心地と居住意向

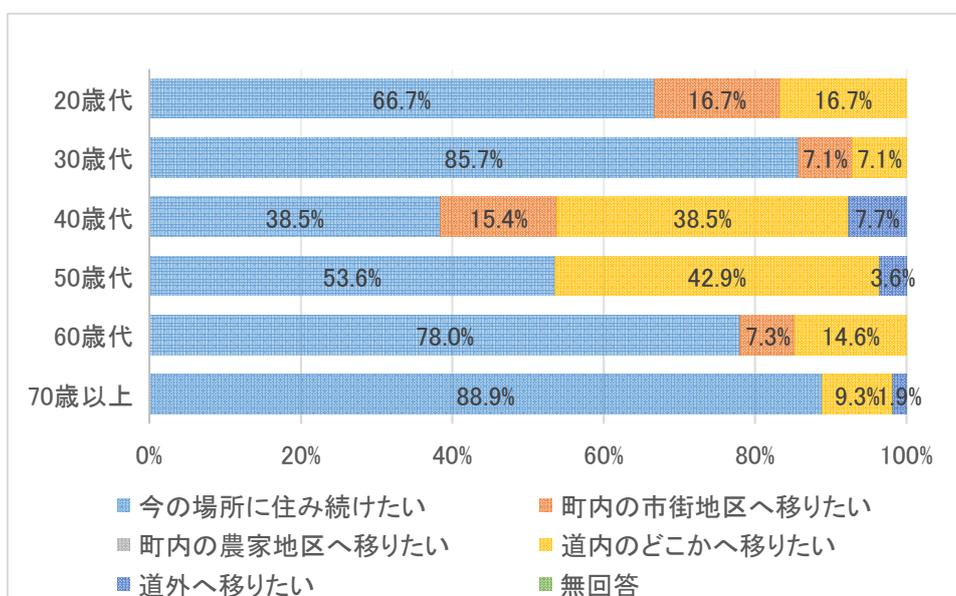
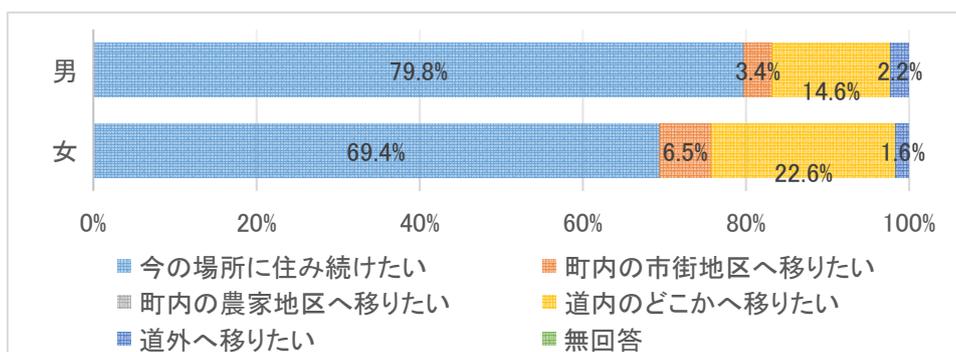
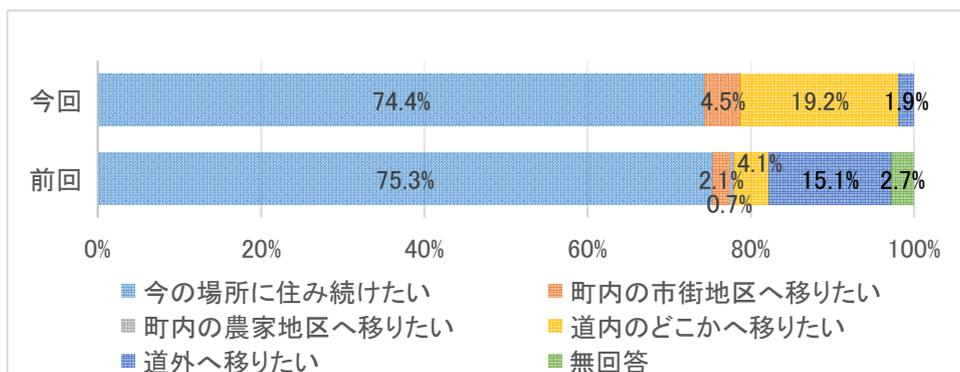
#### 問3 住み心地

- ・全体では、「とても住みよい」と「住みよい」の合計で54.5%であり、前回調査を9.9%下回った。
- ・男女別では、男性の方が「とても住みよい」「住みよい」と回答している人の割合が大きかった。



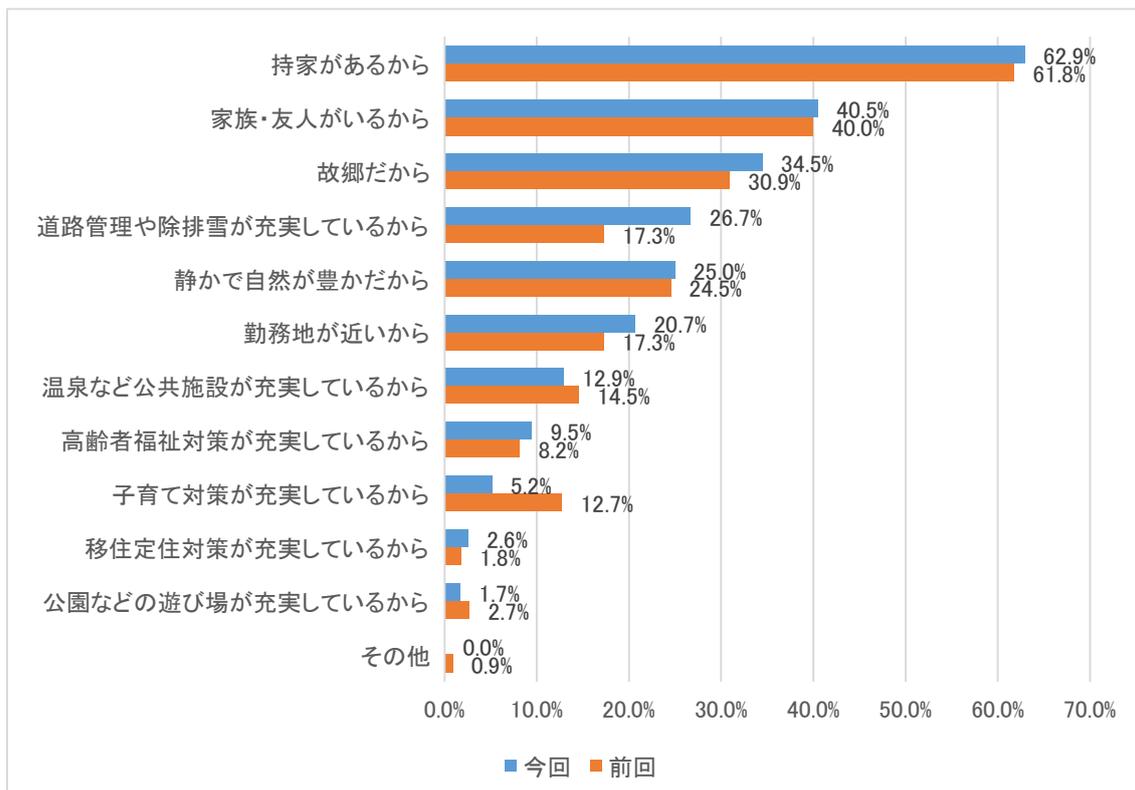
#### 問4 居住意向

- ・全体では、「今の場所に住み続けたい」が74.4%で、「道内のどこかへ移りたい」「道外へ移りたい」が21.1%だった。
- ・男女別では、女性の方が「道内のどこかへ移りたい」の割合が大きかった。
- ・年代別では、40歳代、50歳代で「道内のどこかへ移りたい」の割合が大きかった。



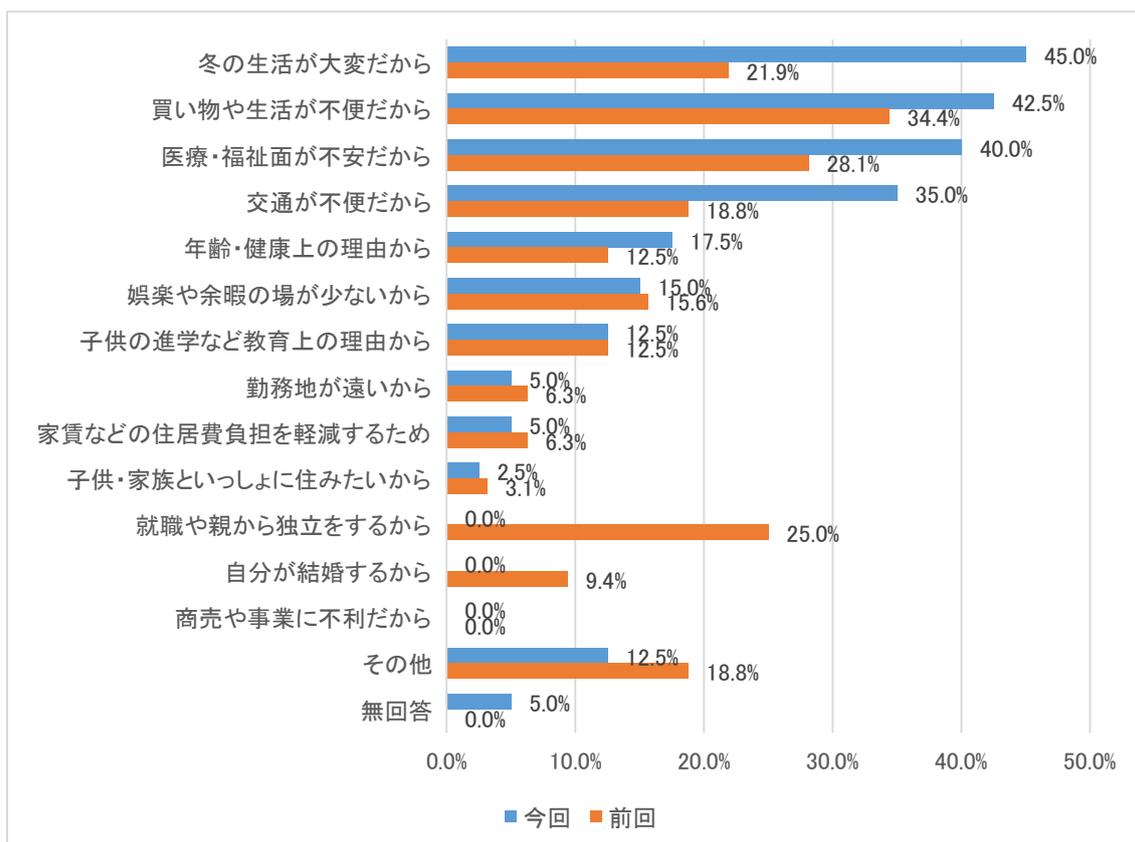
問5 住み続けたい理由（複数回答）

- ・上位は、「持ち家があるから」が62.9%、「家族・友人がいるから」が40.5%、「故郷だから」が34.5%だった。
- ・前回と比べ、「道路管理や除排雪が充実しているから」が大きくなっており、「子育て対策が充実しているから」が小さくなっている。



問6 移り住みたい理由

- ・上位は、「冬の生活が大変だから」が45.0%、「買い物や生活が不便だから」が42.5%、「医療・福祉面が不安だから」が40.0%であり、いずれも前回から大きくなっている。
- ・前回と比べ、「冬の生活が大変だから」「交通が不便だから」「医療・福祉面が不安だから」が大きくなっており、「就職や親から独立をするから」「自分が結婚するから」は小さくなっている。



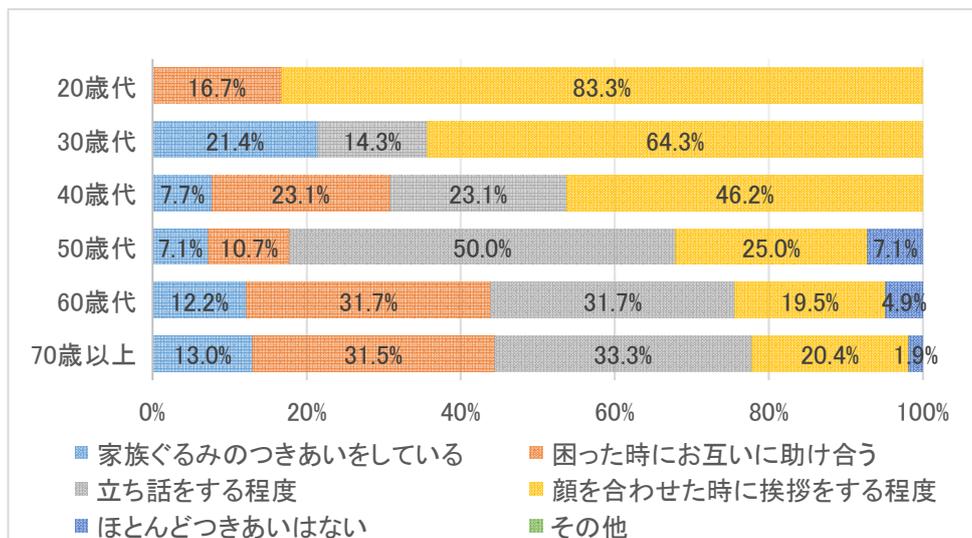
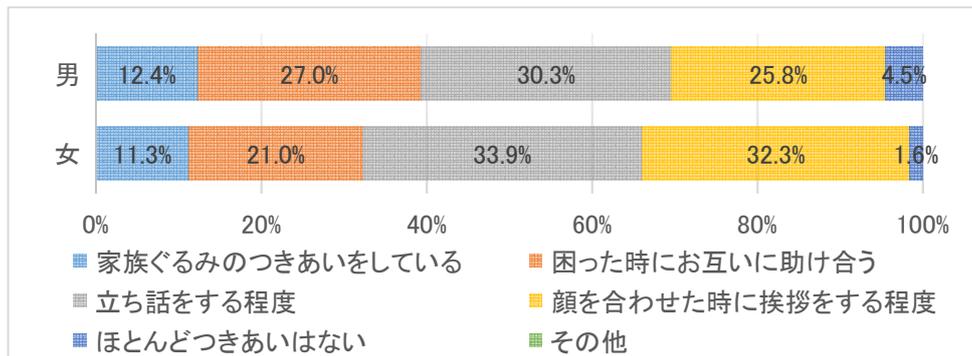
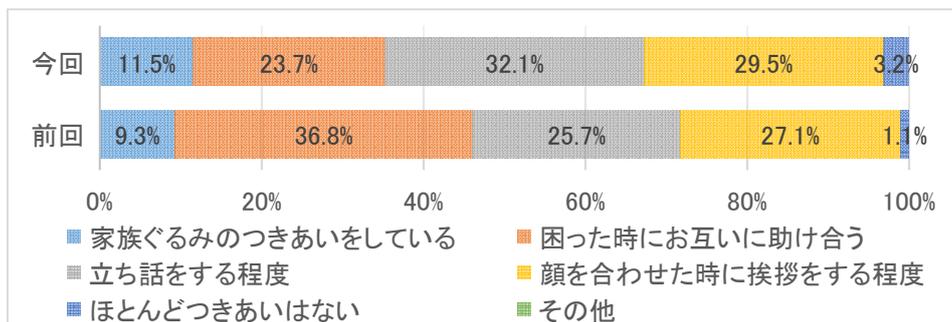
【その他の内容】

- ・トラックによる騒音・振動がひどい、2世帯にしたい、車庫があるところに引っ越したい
- ・人間関係が良くない、悪口が多い

#### 4. 近所づきあいやコミュニティ活動

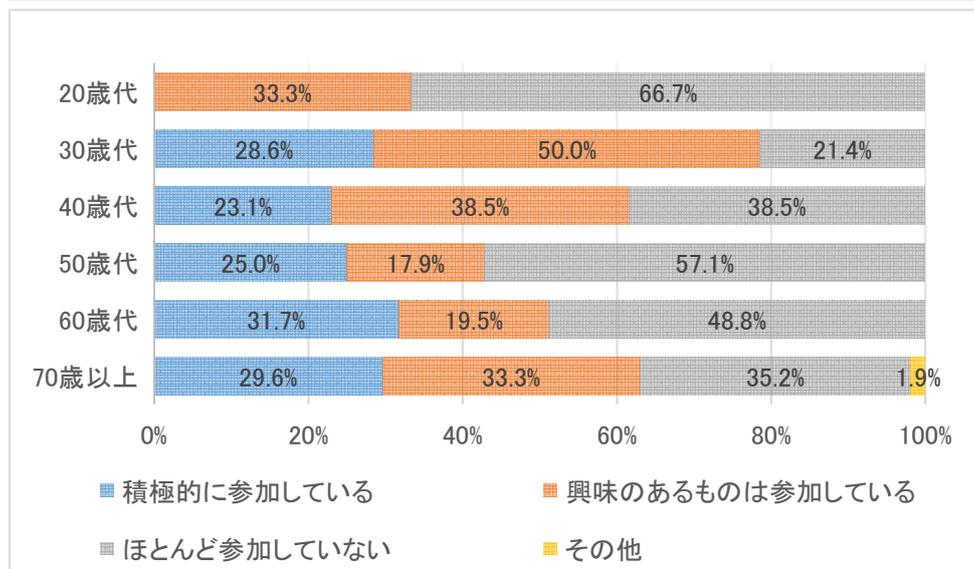
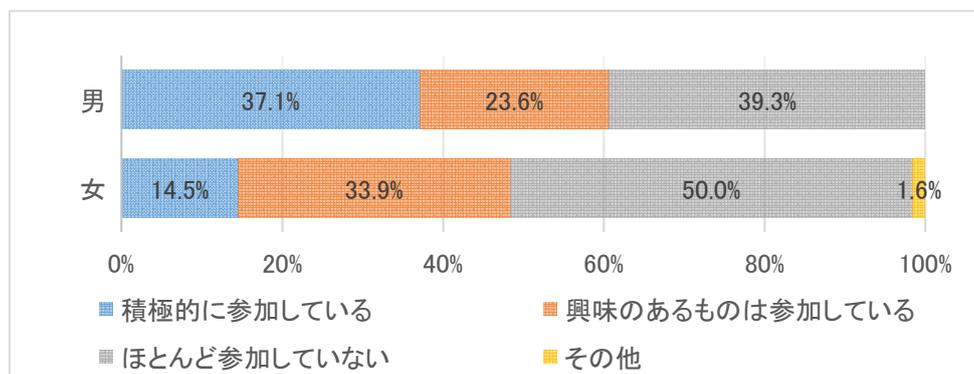
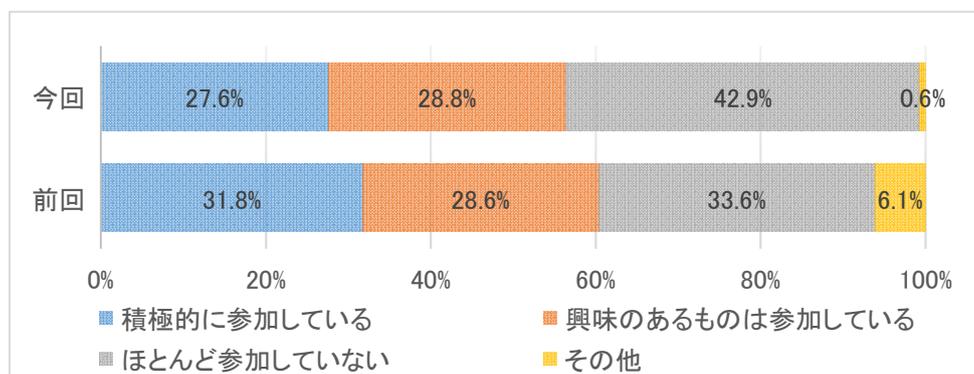
##### 問7 近所づきあい（前回調査は平成27年3月調査）

- ・全体では、「家族ぐるみのつきあいをしている」「困った時にお互いに助け合う」の合計で35.2%であり、前回調査を10.9%下回った。
- ・男女別では、男性の方が「家族ぐるみのつきあいをしている」「困った時にお互いに助け合う」のいずれの割合も大きかった。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれ「家族ぐるみのつきあいをしている」「困った時にお互いに助け合う」の割合が大きかった。



問8 地域活動への参加状況（前回調査は平成27年3月調査）

- ・全体では、「積極的に参加している」「興味のあるものは参加している」の合計で56.4%であり、前回調査を4.0%下回った。
- ・男女別では、男性の方が「積極的に参加している」の割合が大きく、女性の方が「興味のあるものは参加している」「ほとんど参加していない」の割合が大きかった。

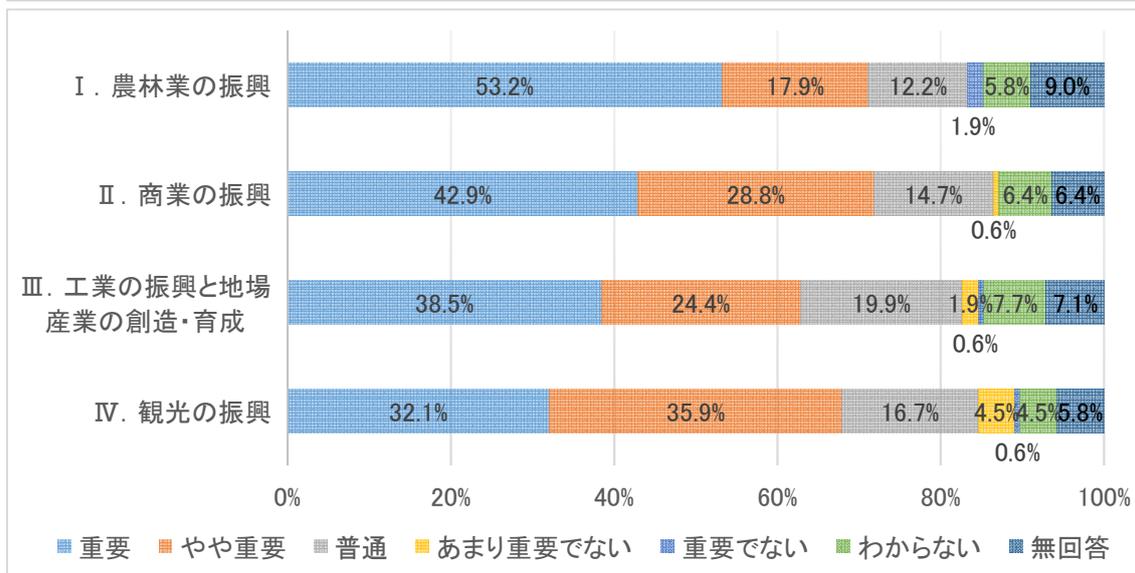
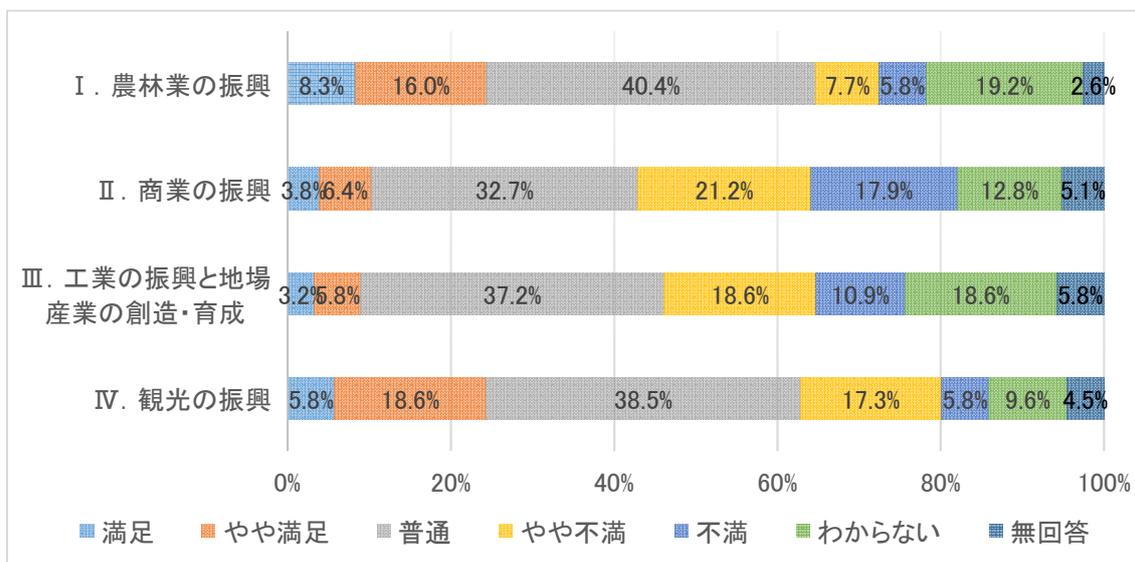


## 5. まちづくりの取組

問9 第6次秩父別町総合計画における基本施策の「現在の満足度」と「今後の重要度」

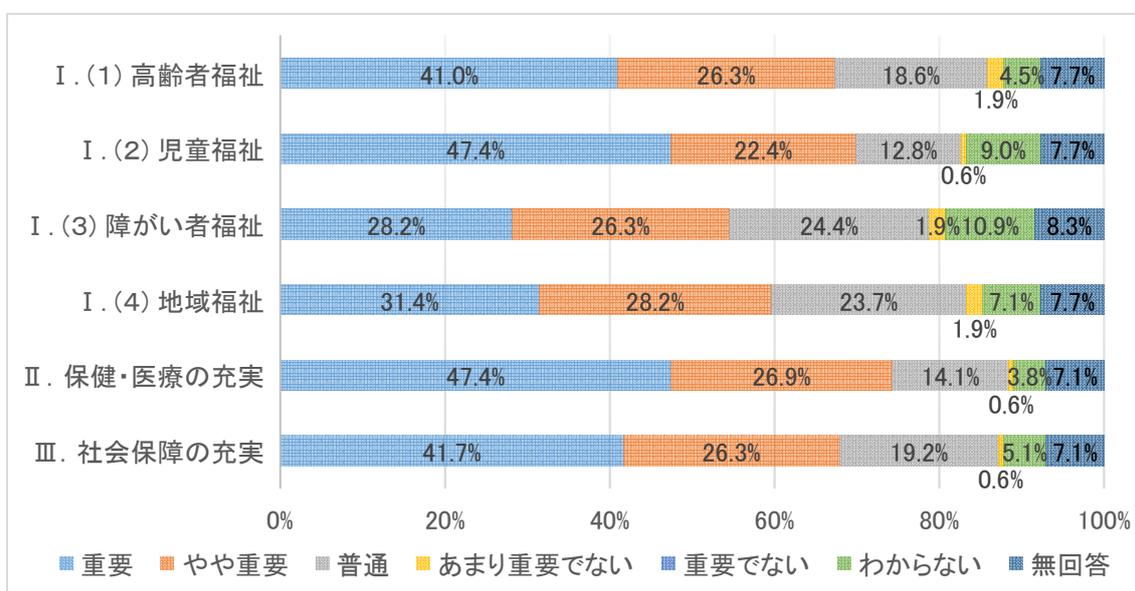
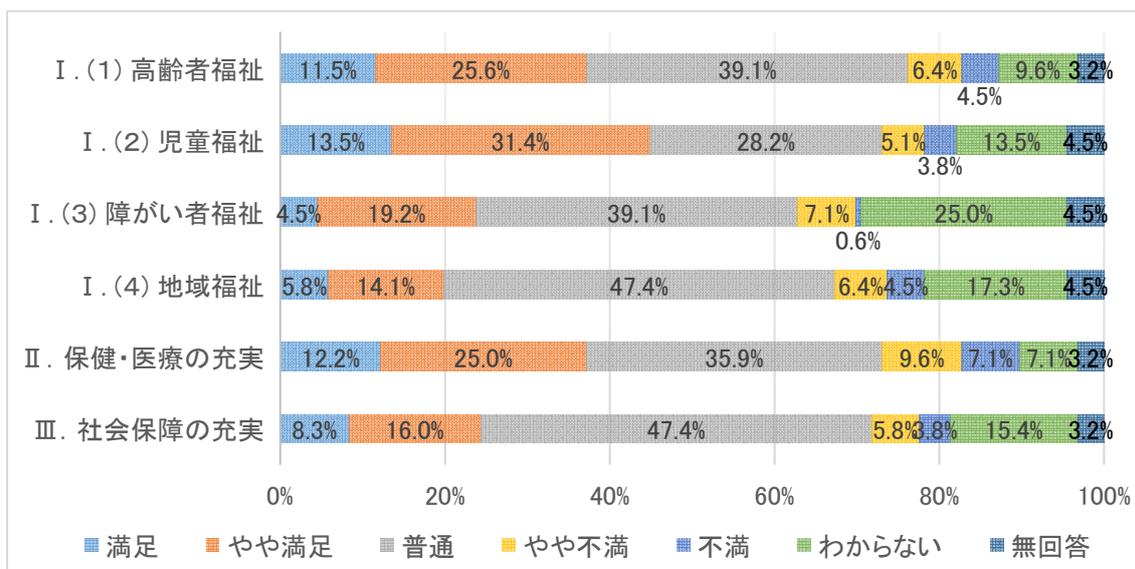
### 1. 活力ある田園のまちづくり

- ・現在の満足度は、「I. 農林業の振興」では「満足」「やや満足」の割合が大きかった。一方で、「II. 商業の振興」「III. 工業の振興と地場産業の創造・育成」では「やや不満」「不満」の割合が大きかった。「IV. 観光の振興」ではきつ抗していた。
- ・今後の重要度は、いずれも「重要」「やや重要」の割合が大きかったが、中でも「I. 農林業の振興」「II. 商業の振興」で「重要」の割合が大きかった。



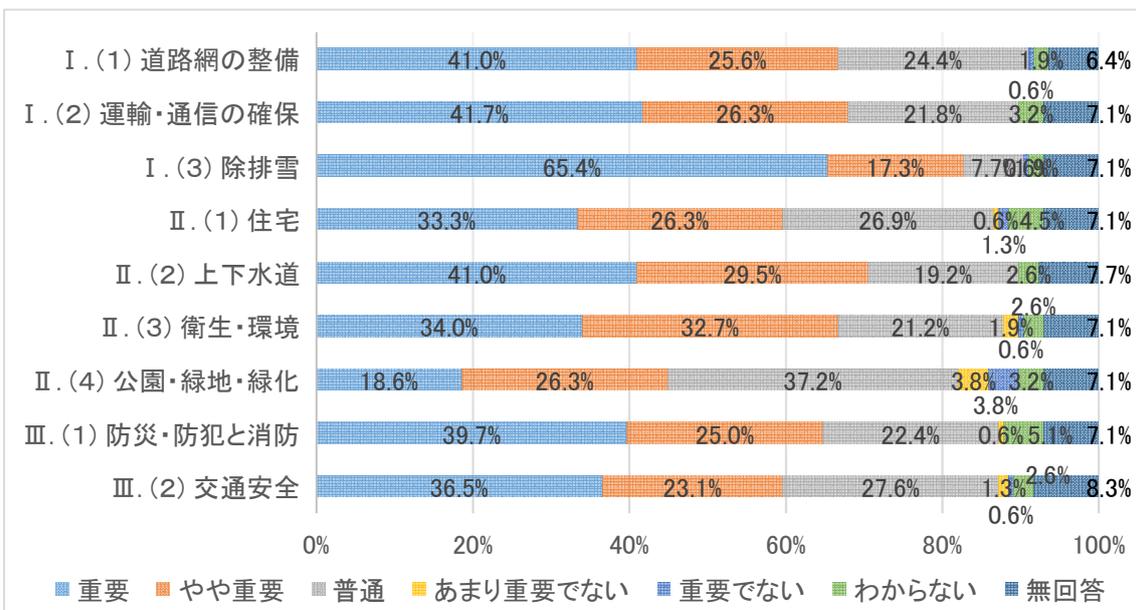
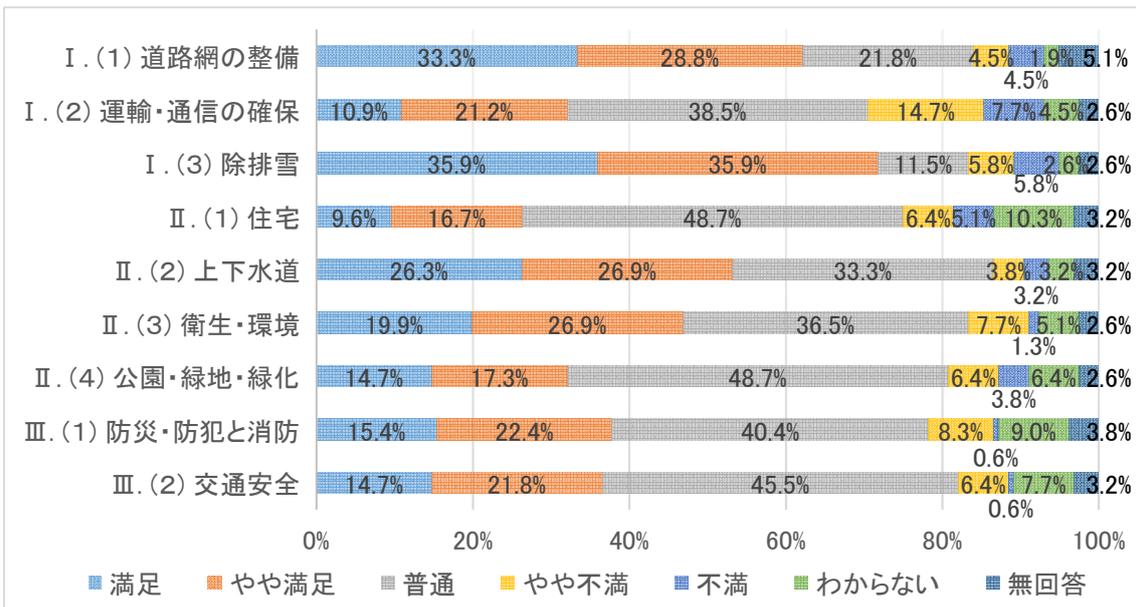
## 2. 心かよいあう福祉のまちづくり

- ・現在の満足度は、いずれも「満足」「やや満足」の方が「やや不満」「不満」よりも割合が大きかったが、中でも「I. 社会福祉の充実」のうち「(1) 高齢者福祉」「(2) 児童福祉」と「II. 保健・医療の充実」で「満足」「やや満足」の割合が大きかった。
- ・今後の重要度は、いずれも「重要」「やや重要」の割合が大きかったが、中でも「I. 社会福祉の充実」のうち「I.(2) 児童福祉」と「II. 保健・医療の充実」で「重要」の割合が大きかった。



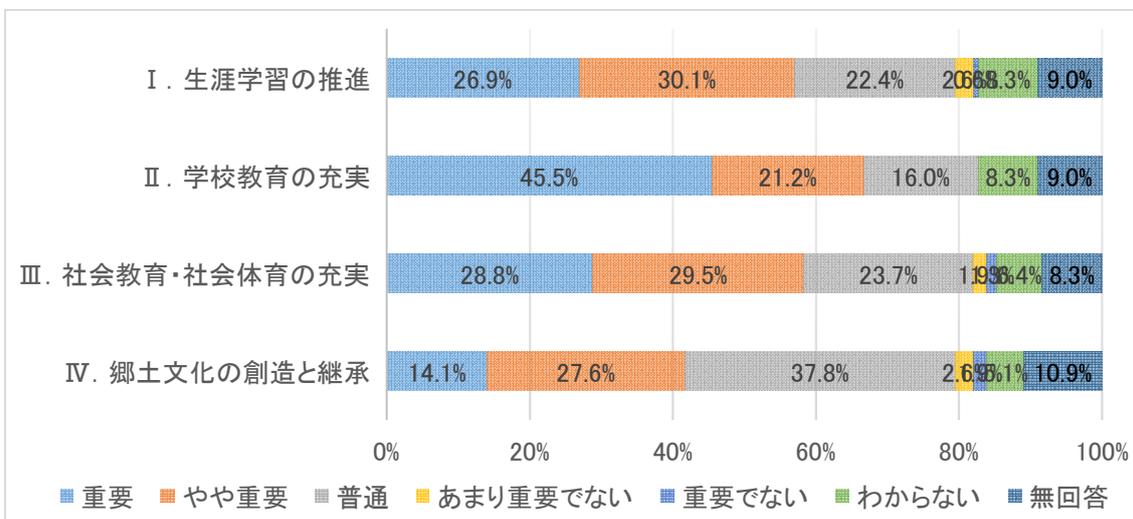
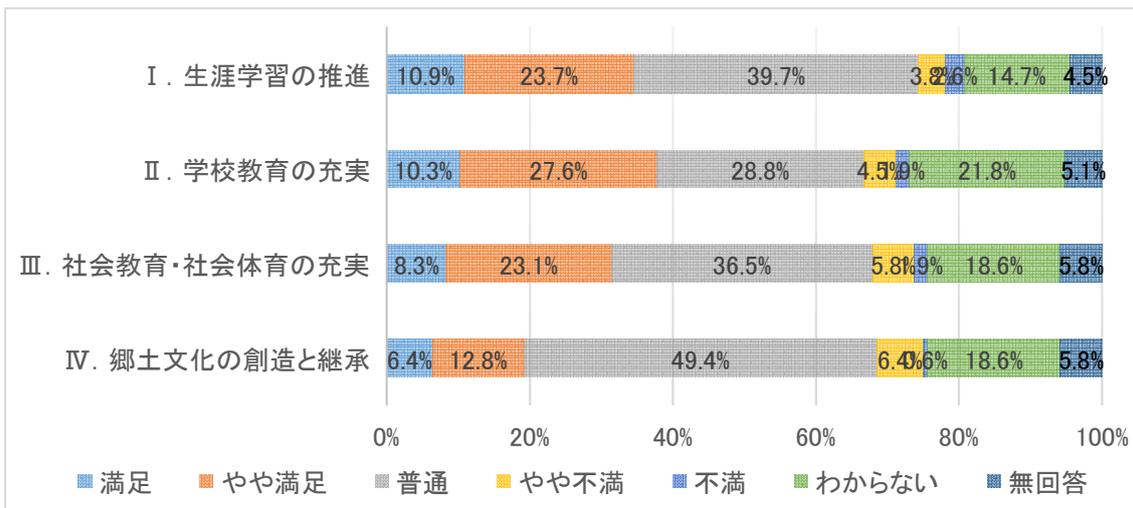
### 3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

- ・現在の満足度は、いずれも「満足」「やや満足」の方が「やや不満」「不満」よりも割合が大きかったが、中でも「I. 安全で利便性を高める道路整備」のうち「(1) 道路網の整備」「(3) 除排雪」と「II. 生活環境の整備」のうち「(2) 上下水道」で「満足」「やや満足」の割合が過半数を超えていた。
- ・今後の重要度は、いずれも「重要」「やや重要」の割合が大きかったが、中でも「I. 安全で利便性を高める道路整備」のうち「(3) 除排雪」で「重要」の割合が特に大きく、「II. 生活環境の整備」のうち「(4) 公園・緑地・緑化」で「重要」「やや重要」の割合が小さかった。



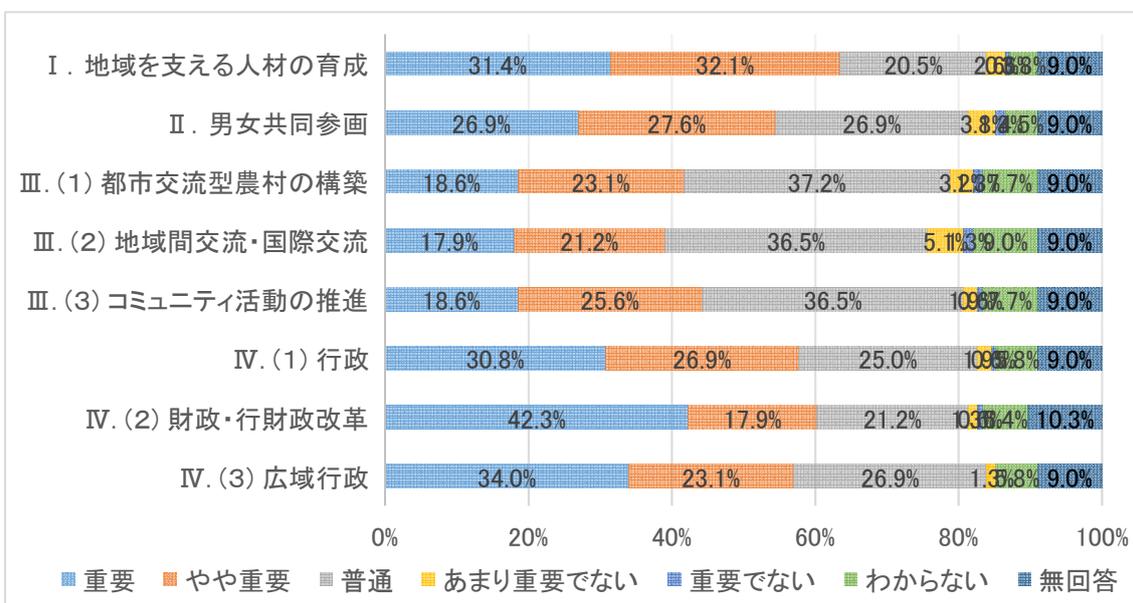
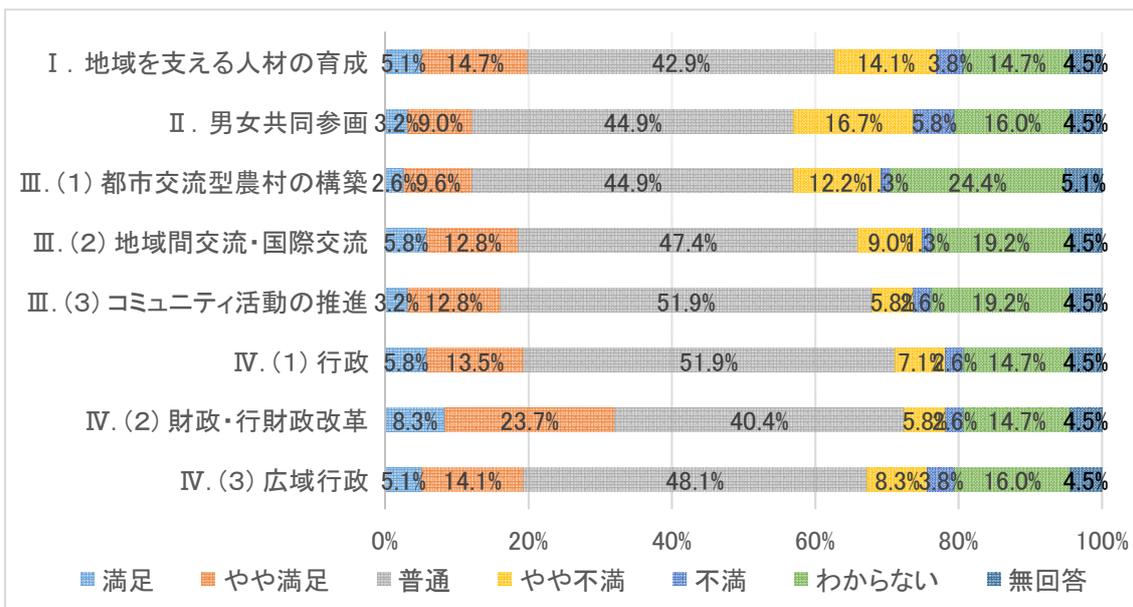
4. 豊かな心を育む生涯学習のまちづくり

- ・現在の満足度は、いずれも「満足」「やや満足」の方が「やや不満」「不満」よりも割合が大きかったが、中でも「Ⅱ. 学校教育の充実」で「満足」「やや満足」の割合が大きかった。
- ・今後の重要度は、いずれも「重要」「やや重要」の割合が大きかったが、中でも「Ⅱ. 学校教育の充実」で「重要」の割合が特に大きく、「Ⅳ. 郷土文化の創造と継承」で「重要」「やや重要」の割合が小さかった。



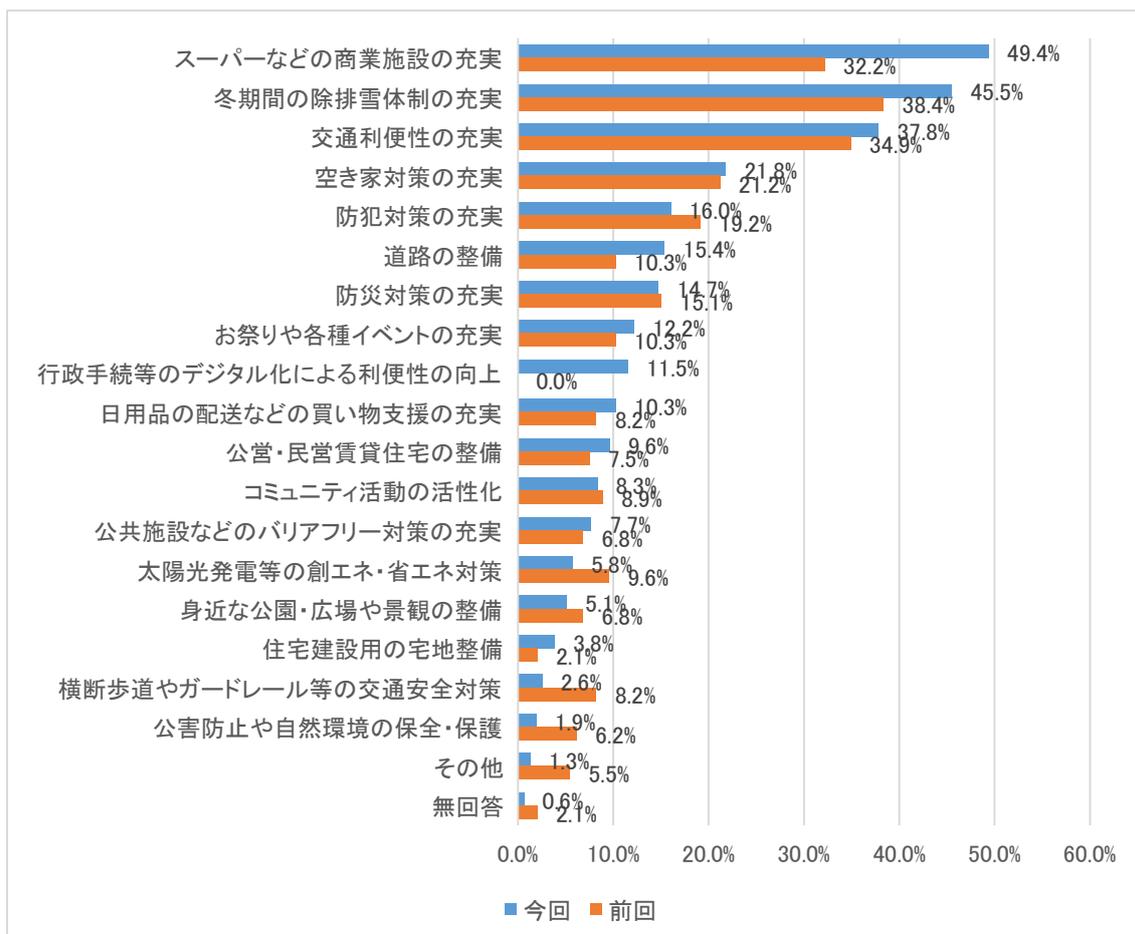
5. 輝く未来へ活力あるまちづくり

- ・現在の満足度は、「IV. 効果的・効率的な行財政の運営」のうち「IV.(2) 財政・行財政改革」で「満足」「やや満足」の割合が大きかった。一方で、「II. 男女共同参画」「III. 広域的交流の推進」のうち「(1) 都市交流型農村の構築」では「やや不満」「不満」の割合が大きかった。
- ・今後の重要度は、いずれも「重要」「やや重要」の割合が大きかったが、中でも「I. 地域を支える人材の育成」で「重要」「やや重要」の割合が大きかった。



問10 生活環境で行政に望むこと

- ・上位は、「スーパーなどの商業施設の充実」が49.4%、「冬期間の除排雪体制の充実」が45.5%、「交通利便性の充実」が37.8%だった。
- ・前回と比較し、「スーパーなどの商業施設の充実」「冬期間の除排雪体制の充実」が大きくなっており、「横断歩道やガードレール等の交通安全対策」「公害防止や自然環境の保全・保護」が小さくなっている。

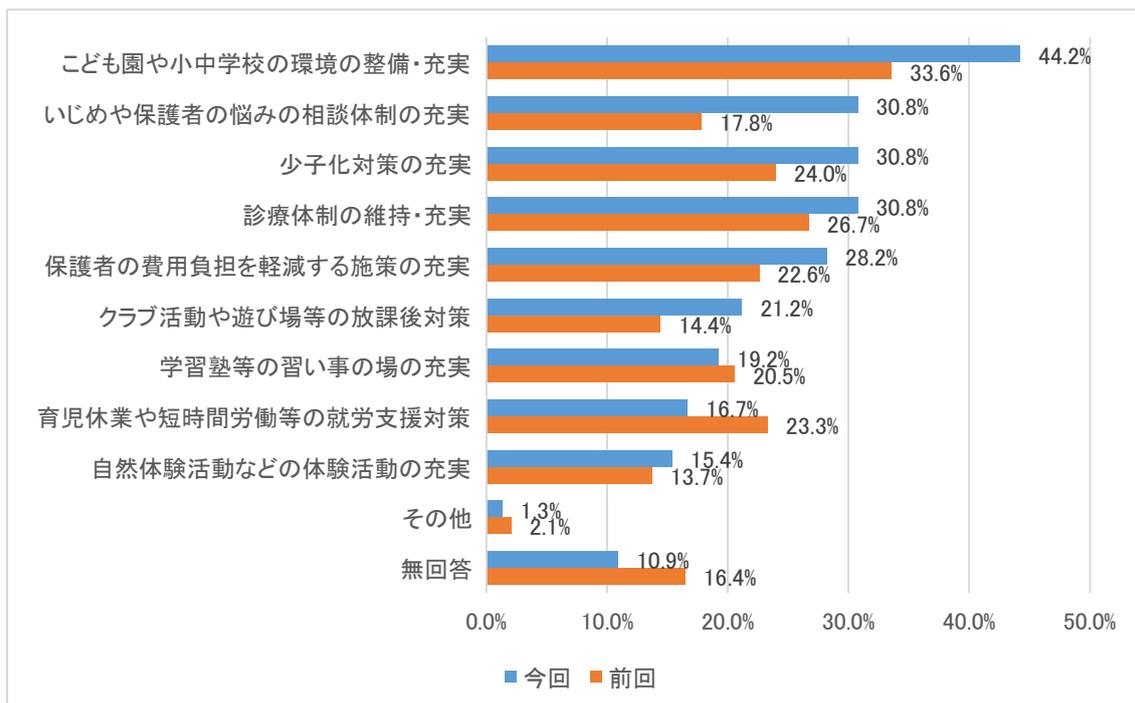


【その他の内容】

- ・トラックによる騒音・振動がひどい
- ・日中気軽にコーヒー飲めて集まれる場所がほしい。

問 11 子育て対策として行政に望むこと

- ・上位は、「こども園や小中学校の環境の整備・充実」が 44.2%、「いじめや保護者の悩みの相談体制の充実」「少子化対策の充実」「診療体制の維持・充実」が同率で 30.8% だった。
- ・前回と比較し、「いじめや保護者の悩みの相談体制の充実」「こども園や小中学校の環境の整備・充実」が大きくなっており、「育児休業や短時間労働等の就労支援対策」が小さくなっている。

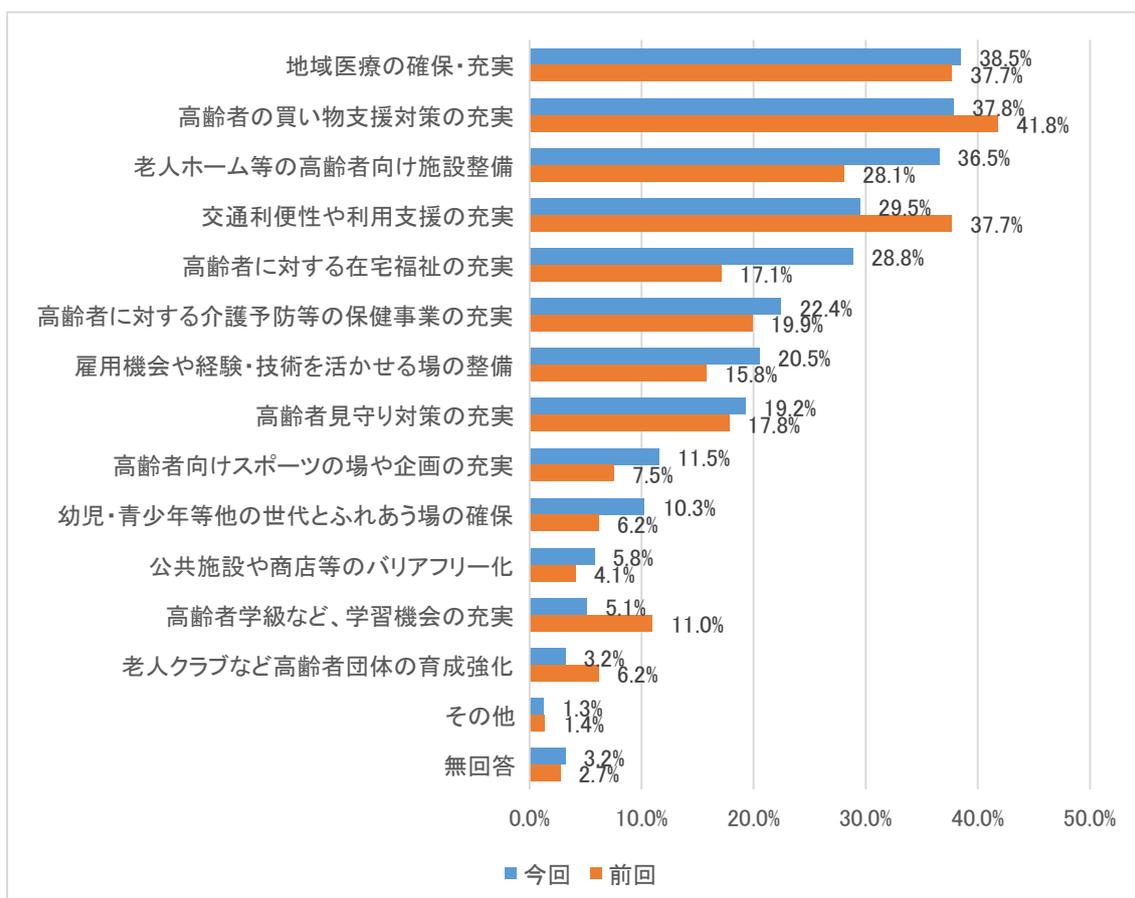


【その他の内容】

- ・近隣町村との小中学校の合併
- ・子どもを出産した家庭へのオムツ処理用ゴミ袋の無償提供

問 12 お年寄りの方が健康で生きがいを持ち充実した生活を送るために必要なこと

- ・上位は、「地域医療の確保・充実」が 38.5%、「高齢者の買い物支援対策の充実」が 37.8%、「老人ホーム等の高齢者向け施設整備」が 36.5%だった。
- ・前回と比較し、「高齢者に対する在宅福祉の充実」「老人ホーム等の高齢者向け施設整備」が大きくなっており、「交通利便性や利用支援の充実」「高齢者学級など、学習機会の充実」が小さくなっている。

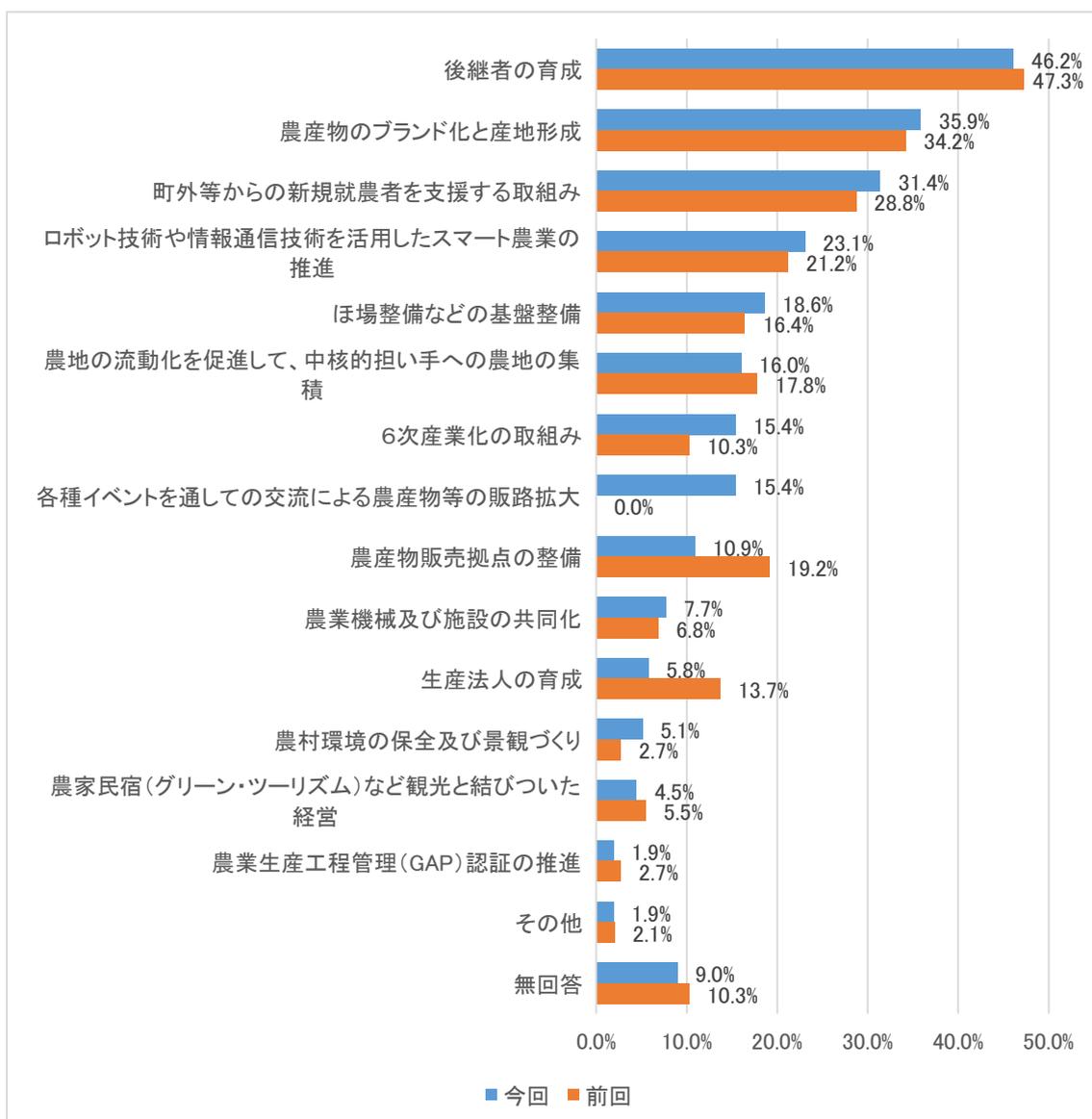


【その他の内容】

- ・介護人材の養成
- ・老人住宅の新設

問 13 農業振興について

- ・上位は、「後継者の育成」が 46.2%、「農産物のブランド化と産地形成」が 35.9%、「町外等からの新規就農者を支援する取組み」が 31.4%だった。
- ・前回と比較し、「6次産業化の取組み」が大きくなっており、「農産物販売拠点の整備」「生産法人の育成」が小さくなっている。

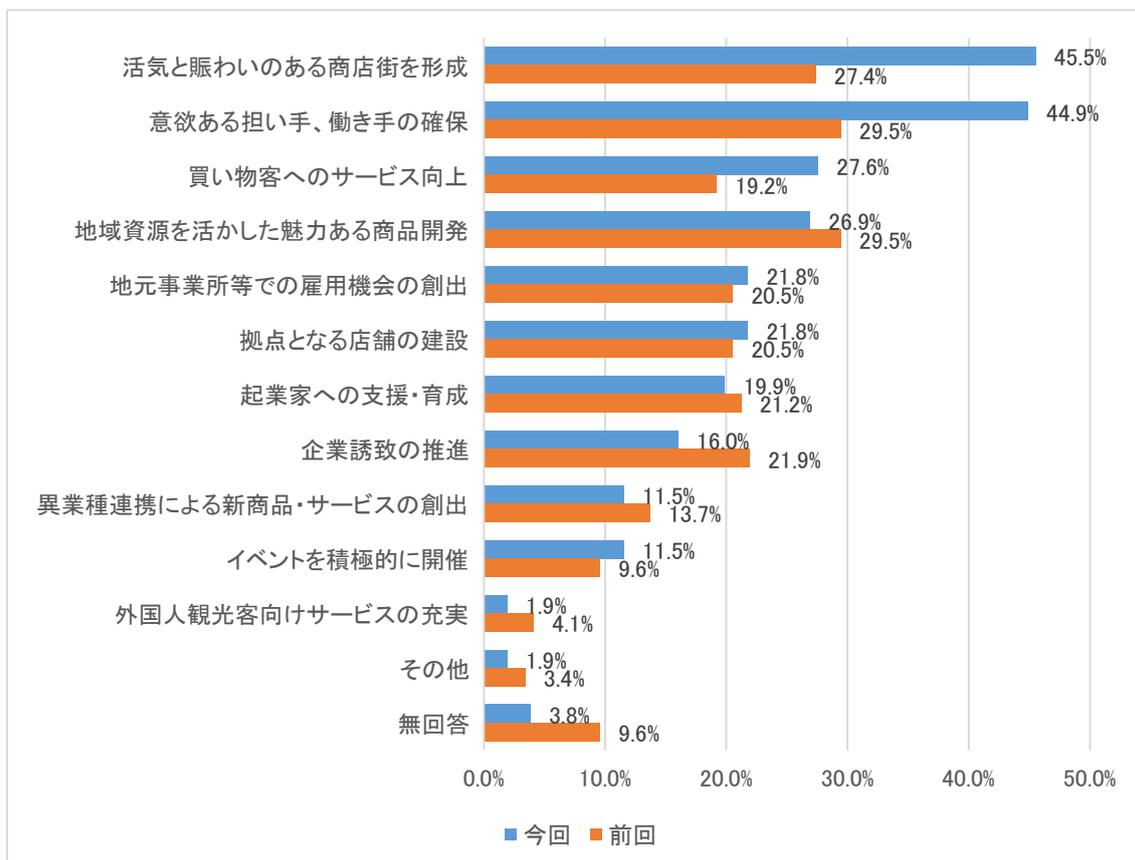


【その他の内容】

- ・農業や商工業に関わる国の補助事業獲得をサポートする専門部署と専門職員の設置
- ・ブロッコリーの生産者の拡大、冷凍食品等の加工製品の製造

問 14 商工業の振興について

- ・上位は、「活気と賑わいのある商店街を形成」が45.5%、「意欲ある担い手、働き手の確保」が44.9%、「買い物客へのサービス向上」が27.6%だった。
- ・前回と比較し、「活気と賑わいのある商店街を形成」「意欲ある担い手、働き手の確保」が大きくなっており、「企業誘致の推進」が小さくなっている。

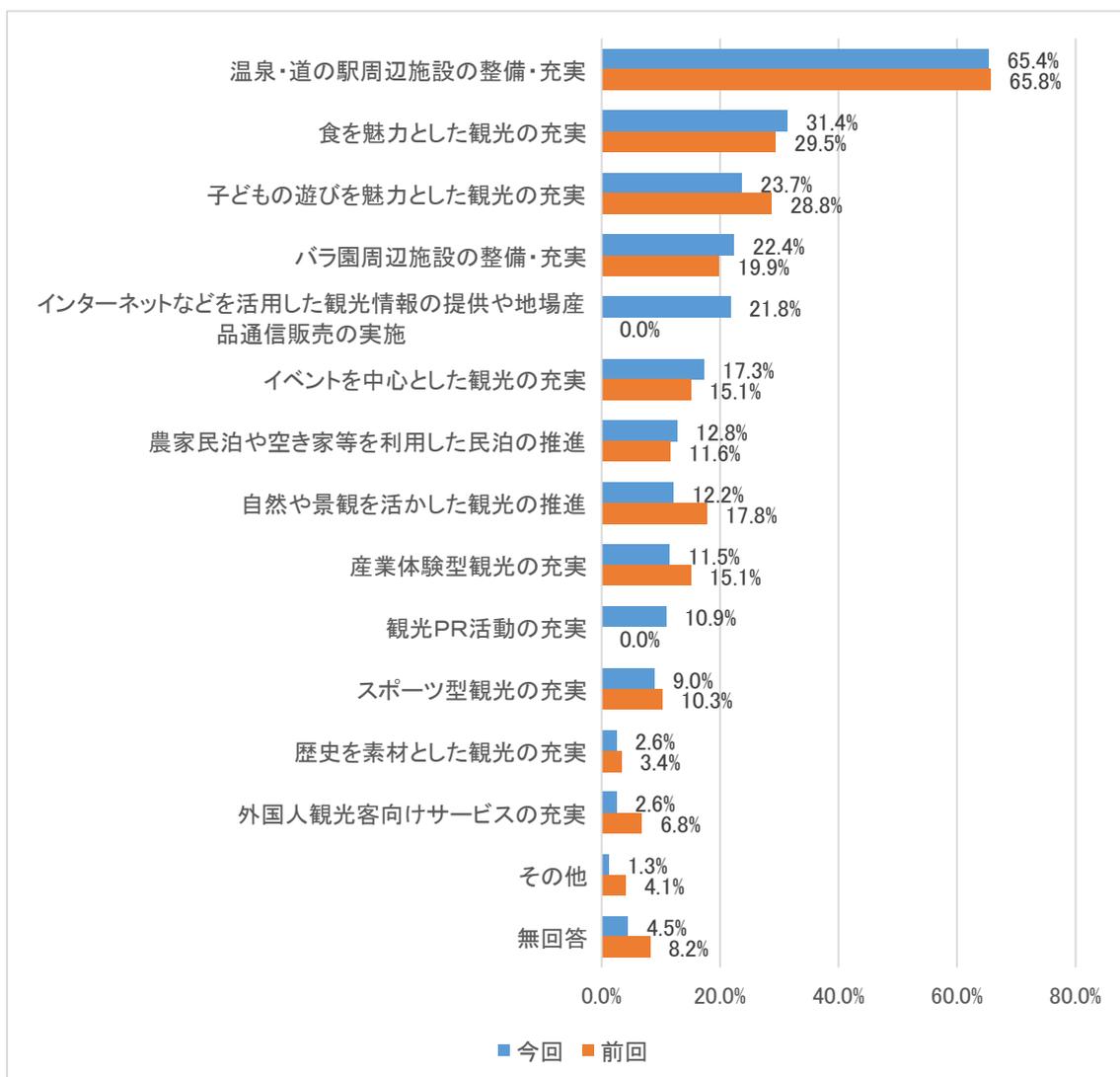


【その他の内容】

- ・電子決済の充実
- ・町外観光客を対象としたサービスの創出

問 15 観光振興について

- ・上位は、「温泉・道の駅周辺施設の整備・充実」が 65.4%、「食を魅力とした観光の充実」が 31.4%、「子どもの遊びを魅力とした観光の充実」が 23.7%だった。
- ・前回と比較し、「自然や景観を活かした観光の推進」「子どもの遊びを魅力とした観光の充実」が小さくなっている。

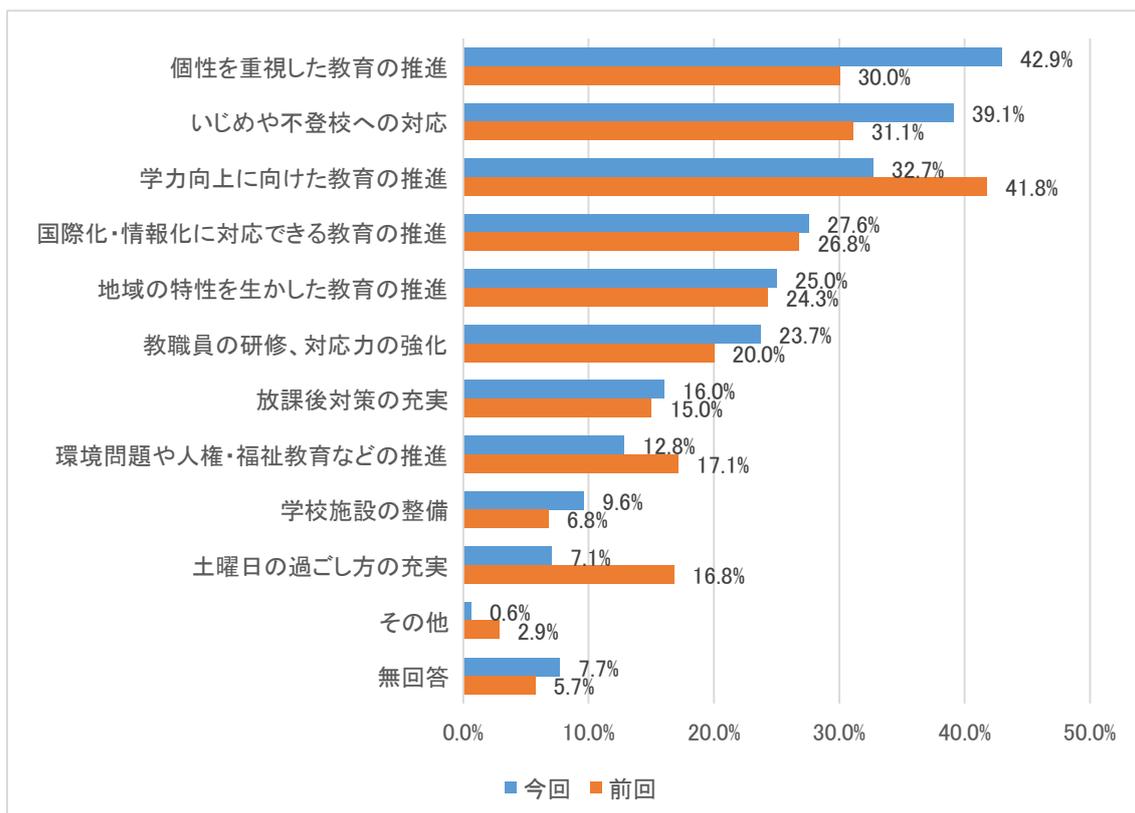


【その他の内容】

- ・景観の維持（ソーラーパネルなど）
- ・なつまつりの時期や内容の見直し

問 16 学校教育について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「個性を重視した教育の推進」が 42.9%、「いじめや不登校への対応」が 39.1%、「学力向上に向けた教育の推進」が 32.7%だった。
- ・前回と比較し、「個性を重視した教育の推進」「いじめや不登校への対応」が大きくなっており、「土曜日の過ごし方の充実」「学力向上に向けた教育の推進」が小さくなっている。

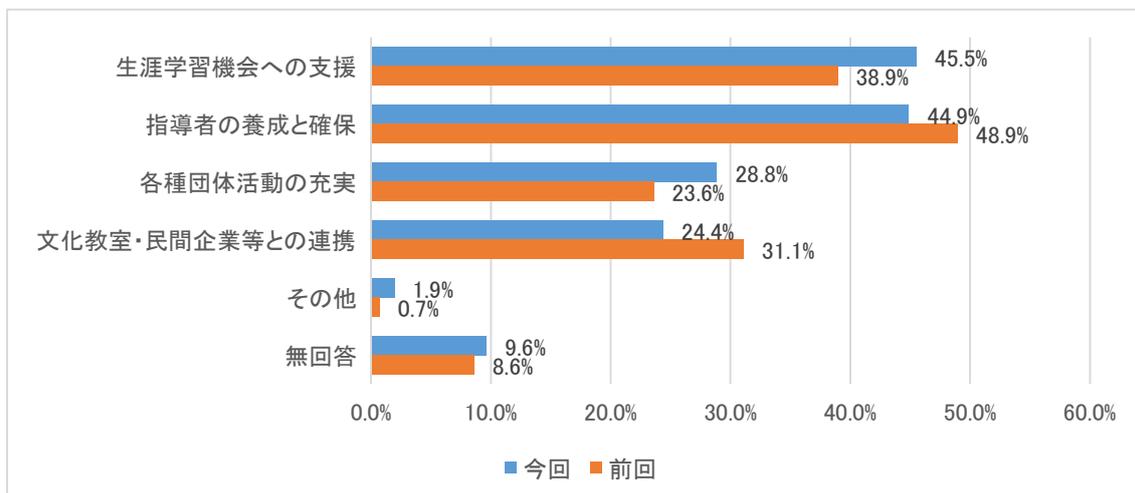


【その他の内容】

- ・教職員の確保・負担減、児童数の確保(合併)

問 17 生涯学習について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「生涯学習機会への支援」が 45.5%、「指導者の養成と確保」が 44.9%だった。
- ・前回と比較し、「生涯学習機会への支援」「各種団体活動の充実」が大きくなっており、「文化教室・民間企業等との連携」「指導者の養成と確保」が小さくなっている。

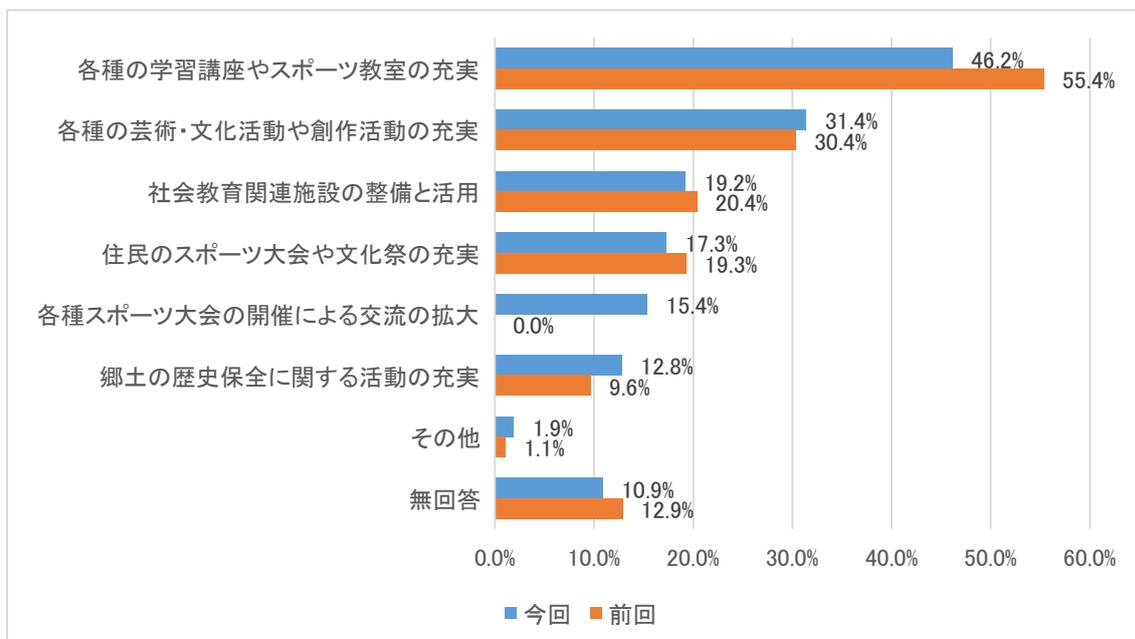


【その他の内容】

- ・親子教室の充実
- ・事業の抜本的見直し

問 18 社会教育・スポーツ・文化等について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「各種の学習講座やスポーツ教室の充実」が 46.2%、「各種の芸術・文化活動や創作活動の充実」が 31.4%だった。
- ・前回と比較し、「郷土の歴史保全に関する活動の充実」が大きくなっており、「各種の学習講座やスポーツ教室の充実」が小さくなっている。



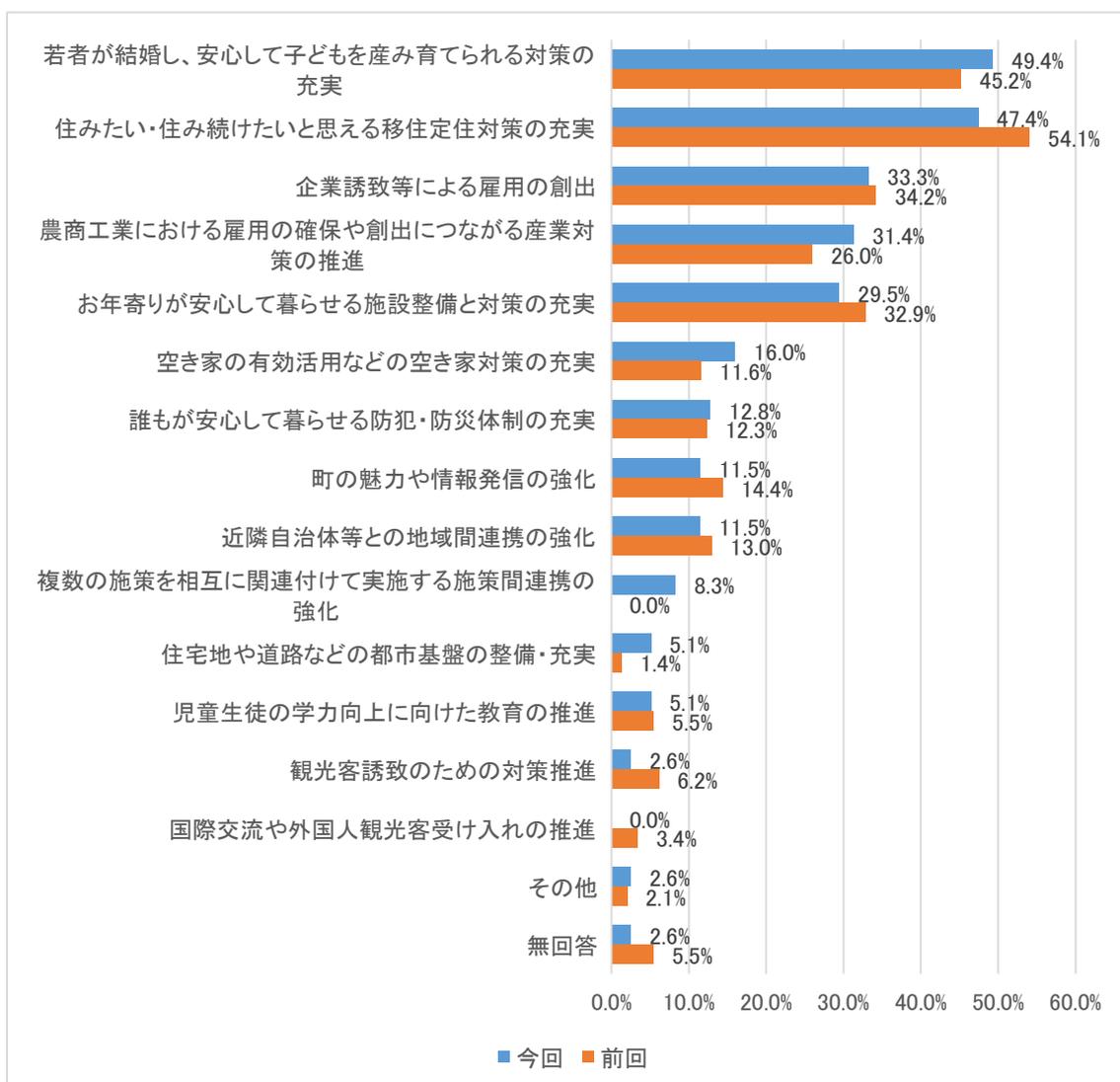
【その他の内容】

- ・異年齢交流スポーツの拡大
- ・指導者の確保と育成

## 6. 将来の秩父別町のことについて

### 問 19 人口減少問題対策について

- ・上位は、「若者が結婚し、安心して子どもを産み育てられる対策の充実」が 49.4%、「住みたい・住み続けたいと思える移住定住対策の充実」が 47.4%、「企業誘致等による雇用の創出」が 33.3%だった。
- ・前回と比較し、「農商工業における雇用の確保や創出につながる産業対策の推進」が大きくなっており、「住みたい・住み続けたいと思える移住定住対策の充実」が小さくなっている。

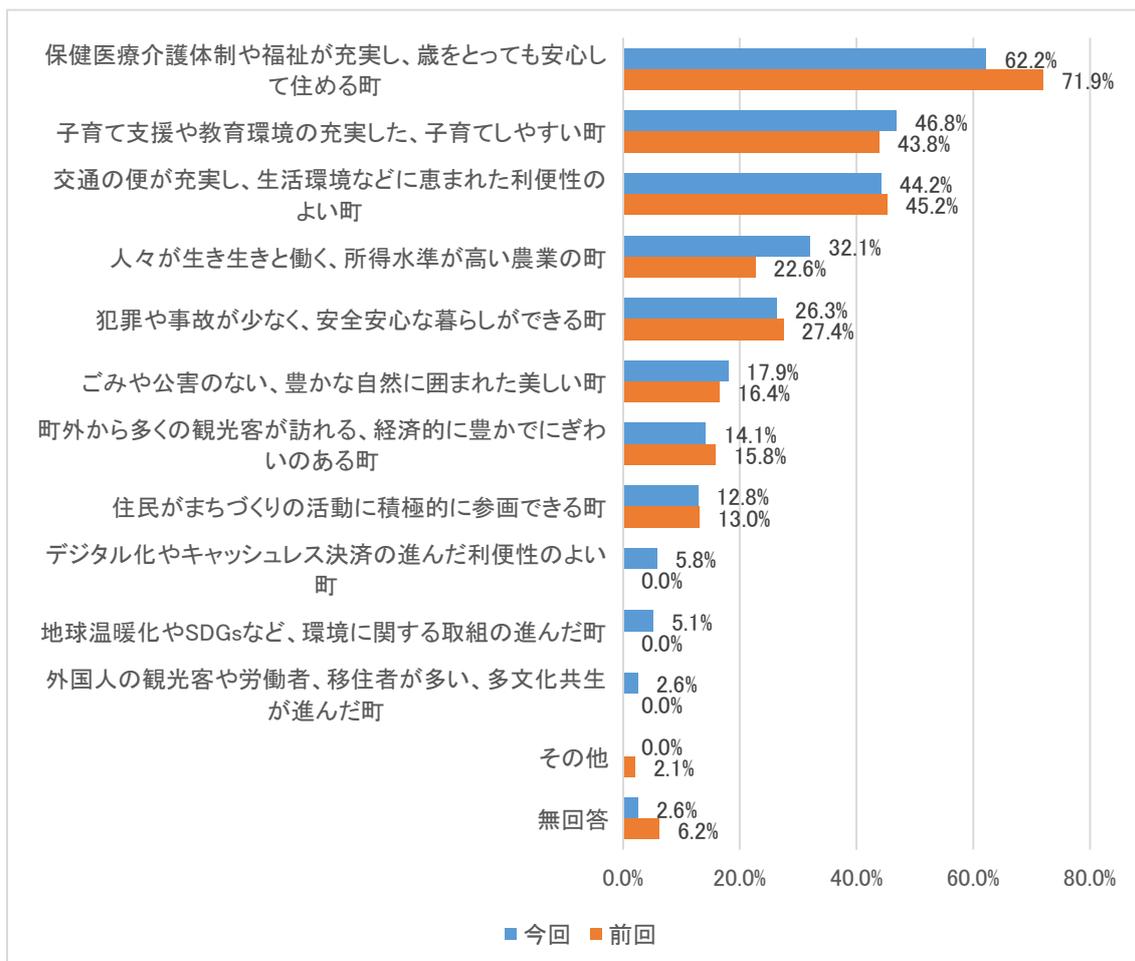


#### 【その他の内容】

- ・救急医療の充実、交通利便性の確保
- ・人口減少は止められないので、合併や広域化（特に教育関係）を検討すべき。

問 20 将来の秩父別町がどのような町になることを望むか

- ・上位は、「保健医療介護体制や福祉が充実し、歳をとっても安心して住める町」が 62.2%、「子育て支援や教育環境の充実した、子育てしやすい町」が 46.8%、「交通の便が充実し、生活環境などに恵まれた利便性のよい町」が 44.2%だった。
- ・前回と比較し、「人々が生き生きと働く、所得水準が高い農業の町」が大きくなっており、「保健医療介護体制や福祉が充実し、歳をとっても安心して住める町」が小さくなっている。



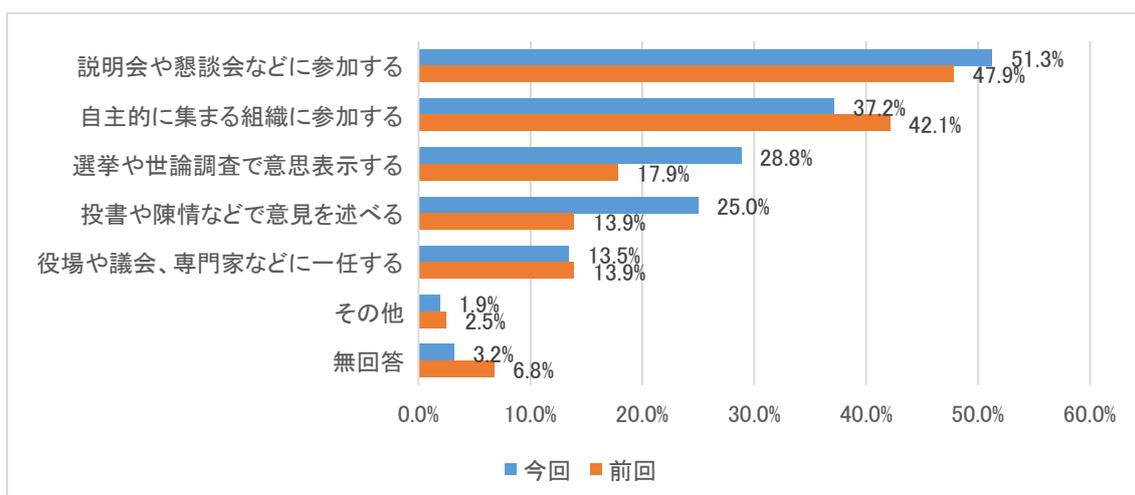
【その他の内容】

- ・救急医療の充実、交通利便性の確保
- ・人口減少は止められないので、合併や広域化（特に教育関係）を検討すべき。

## 7. 住民の参画について

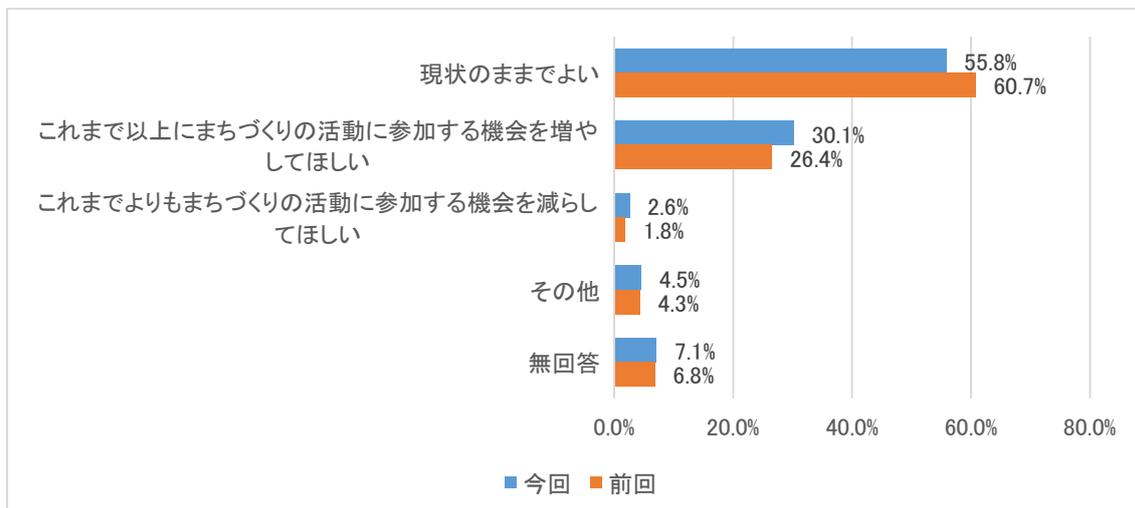
問 21 住民の参画方法について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「説明会や懇談会などに参加する」が 51.3%、「自主的に集まる組織に参加する」が 37.2%だった。
- ・前回と比較し、「選挙や世論調査で意思表示する」「投書や陳情などで意見を述べる」が大きくなっており、「自主的に集まる組織に参加する」が小さくなっている。



問 22 住民の参画機会について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「現状のままでよい」が 55.8%、「これまで以上にまちづくりの活動に参加する機会を増やしてほしい」が 30.1%だった。
- ・前回と比較し、「これまで以上にまちづくりの活動に参加する機会を増やしてほしい」が大きくなっており、「現状のままでよい」が小さくなっている。

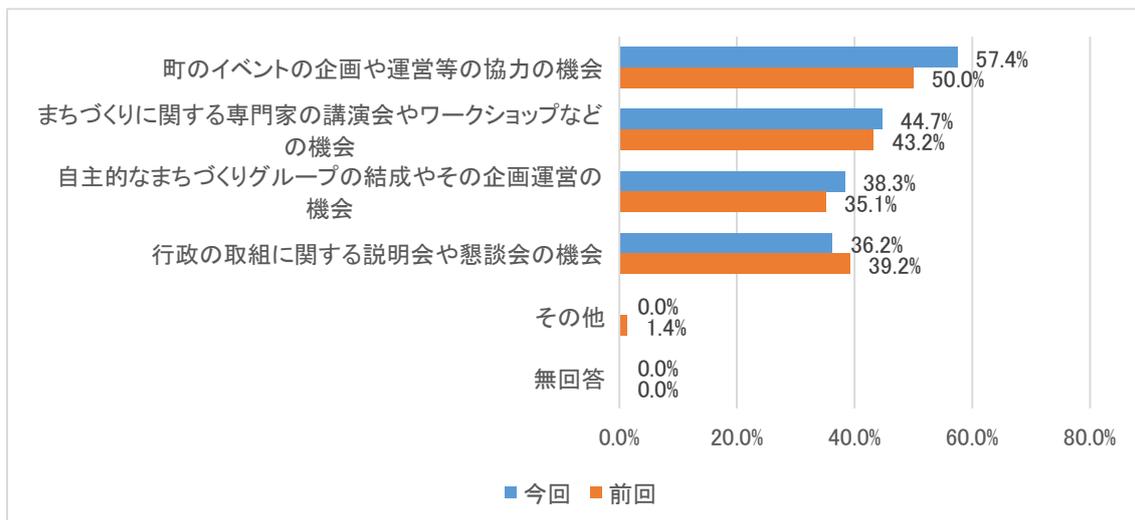


【その他の内容】

- ・年齢に応じた活動機会の創出
- ・参加しやすい環境づくり（多世代で参加できる、だんだん大きくする等）

問 23 参画機会の増加の希望内容について（前回調査は平成 27 年 3 月調査）

- ・上位は、「町のイベントの企画や運営等の協力の機会」が 57.4%、「まちづくりに関する専門家の講演会やワークショップなどの機会」が 44.7%だった。
- ・前回と比較し、「町のイベントの企画や運営等の協力の機会」が大きくなっており、「行政の取組に関する説明会や懇談会の機会」が小さくなっている。



8. 「秩父別町の自慢」などについて

①産業

農業・農産物	44
米・稲作	28
ブロッコリー	9
トマト	3
温泉	2
その他	6
合計	92

②景色・景観

田園風景・田園・風景	25
ローズガーデン・バラ園	20
自然・緑	13
暑寒岳・暑寒別岳・暑寒連峰	5
夕日・夕焼け、水田・田んぼ（同数）	4
その他	38
合計	109

③歴史・文化

屯田兵・開拓・開墾	28
郷土館	3
獅子舞	3
丸木俊	2
百年記念塔	2
その他	13
合計	51

④味覚・料理

米・こめ・ゆめぴりか	12
緑のナポリタン・みどナポ	10
ブロッコリー	10
ブロッコリーパスタ	8
トマトジュース・あかずきんちゃん	4
その他	10
合計	54

⑤特産

ブロッコリー	41
米・こめ・水稻	35
トマトジュース・あかずきんちゃん	30
トマト・ミニトマト	6
メロン	2
その他	14
合計	128

⑥その他

温泉・ゆう&ゆ・お風呂	9
ちっくる	6
キュービック	5
除雪	3
バラ園、キャンプ場、図書館（同数）	2
その他	20
合計	49

## 0. アンケートの回答方法

- 全体では、紙が 55.1%、Web が 44.9% だった。
- 男女別では、男性の 51.7% が Web だったが、女性は 35.5% に留まった。
- 年代別では、20 代～50 代まで 8 割以上が Web であり、高齢層になるにつれて紙が多くなった。

